

---

## 金融庁委託調査

# 貸金業利用者に関する調査・研究 <調査結果>

2021年3月17日

**Onoff** inc.

---

# 1. 調査概要

# I. 調査概要 1 調査設計

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	オノフ ネットモニター
調査地域	全国
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18～70代の男女</li> <li>・本人または家族が以下の職業に従事している場合は対象外 出版・印刷関連、マスコミ関連(新聞・放送業等)、広告・市場調査、金融関係(銀行/信託/信金/信組/政府系金融信販/消費者金融/ その他金融/証券、商品取引/ 生命保険/損害保険)</li> </ul>
調査期間	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査      2021年2月5日(金)～2月12日(金) <input type="checkbox"/> 本調査                              2020年2月12日(金)～2月17日(水)
調査設計	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査： 回収目標サンプル数 最大70,000サンプル <グループ1> 性別/年代/エリアで母集団準拠を行った50,000サンプル程度 ※母集団準拠については、平成27年度の国勢調査結果にその後の人口動向を加味したものを母集団として使用 <グループ2> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」約20,000サンプル程度 <input type="checkbox"/> 本調査： 回収目標サンプル数:5,000サンプル程度 <グループA> 3年以内借入経験者 3,000サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,000サンプル <グループC> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」500～1000サンプル程度 (※ 上記A、Bに含まれる)
有効回収 サンプル数	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査 <グループ1> 性別/年代/エリアで母集団準拠を行った、47,521サンプル <グループ2> 「農林漁業」33サンプル、「専門職」217サンプル、「個人事業主」424サンプル、 「会社員」3,498サンプル、「派遣・契約社員」396サンプル <input type="checkbox"/> 本調査 <グループA> 3年以内借入経験者 3,133サンプル (うち、グループ1由来 2,704サンプル、グループ2由来 429サンプル) <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,250サンプル <グループC> 429サンプル(「農林漁業」9サンプル、「専門職」20サンプル、「個人事業主」32サンプル、 「会社員」333サンプル、「派遣・契約社員」35サンプル)

(注)グループCについては、調査結果の精度を高める観点から、いくつかの属性においてサンプルの補填を行っているもの。

## 1. 調査概要 2 本調査 有効回収数

- 本報告書では、下表「ランダムサンプル」※1をベースに分析。
- ただし、職業別に分析を行う際にのみ、「ランダムサンプル」に「補填サンプル」※2を加えたサンプルをベースとして分析。

※1 「ランダムサンプル」とは、市場の構成を反映させるため、スクリーニング時に性別／年代／エリア(地域)別に市場人口構成比に準じた割付を行い回収したサンプルです。

※2 「補填サンプル」とは、職業別分析の際に安定したサンプル数を確保するため、ランダムサンプルとは別枠でスクリーニングを行い獲得したサンプルです。

	ランダムサンプル					補填サンプル	
	全体	3年以内借入経験者	3年以内借入経験者以外	うち借入経験あり(3年より前)	うち借入経験なし	補填サンプル追加全体	3年以内借入経験者
全体	4954	2704	2250	256	1994	5383	429
会社員	1838	1221	617	90	527	2171	333
経営者・役員	90	59	31	10	21	90	0
個人事業主(自営業、SOHO含む)	307	181	126	22	104	339	32
公務員(教職員含む)	195	114	81	8	73	195	0
専門職(個人事業主は除く)	113	78	35	3	32	133	20
農林漁業	52	34	18	2	16	61	9
派遣・契約社員	260	171	89	18	71	295	35
パート・アルバイト・フリーター	693	354	339	35	304	693	0
専業主婦／主夫	554	158	396	18	378	554	0
無職	585	196	389	49	340	585	0
学生	238	119	119	0	119	238	0
その他	29	19	10	1	9	29	0

## I. 調査概要 3 対象者グループの定義補足

- 『3年以内借入経験者』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ」「商工ローンからの借入れ」「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

- 『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ」「商工ローンからの借入れ」「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在そのいずれかの借入残高が残っている方

- 『3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ」「商工ローンからの借入れ」「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在「消費者金融からの借入れ」の借入残高が残っている方

- 『借入経験なし』

過去、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ」「商工ローンからの借入れ」「手形割引業者からの借入れ」のいずれについても利用経験がない方

# I. 調査概要 4 補正処理（ウェイトバック）について

- スクリーニング調査結果より、「3年以内借入経験者」が全体に占める割合は**7.0%**。この値が全体に占める「3年以内借入経験者」の比率と推計される（表1）。
- ただし、本調査では「3年以内借入経験者」を約3,000サンプル、「3年以内借入経験者以外」を約2,000サンプルとして設計を行ったため、「3年以内借入経験者」が本調査回収サンプル総数の半数以上を占め、実際の構成よりも大きな比率を占めている。
- よって、セーフティネットの認知など、「3年以内借入経験者」と、「3年以内借入経験者以外」を足した数値をみる際には、3年以内借入経験者の比率を市場構成比にあわせるための補正処理（ウェイトバック）を実施。  
 ※本報告書においては、ウェイトバックを行った数値を記載している箇所には「**ウェイトバックあり**」と注記を付している。

【表1】スクリーニング／本調査回収結果における、「3年以内借入経験者」の割合

## スクリーニング調査回収結果(母集団準拠サンプルのみ)

	全体	3年以内 借入経験者	3年以内 借入経験者以外
サンプル数	47521	3340	44181
構成比	100	7.03	92.97

## 本調査回収結果(補填サンプルを除く)

	全体	3年以内 借入経験者	3年以内 借入経験者以外
サンプル数	4954	2704	2250
構成比	100	54.58	45.42

【表2】ウェイトバック値の算出方法

	① 回収サンプル数	② SCR回収結果より 母集団準拠した際 の比率	③ 回収サンプル数を SCR回収結果の比 率にあわせる (①全体×②)	ウェイトバック値 (③÷①)
全体	4954	1.0000	4954	—
3年以内 借入経験者	2704	0.0703	348	0.12877
3年以内 借入経験者以外	2250	0.9297	4606	2.04703

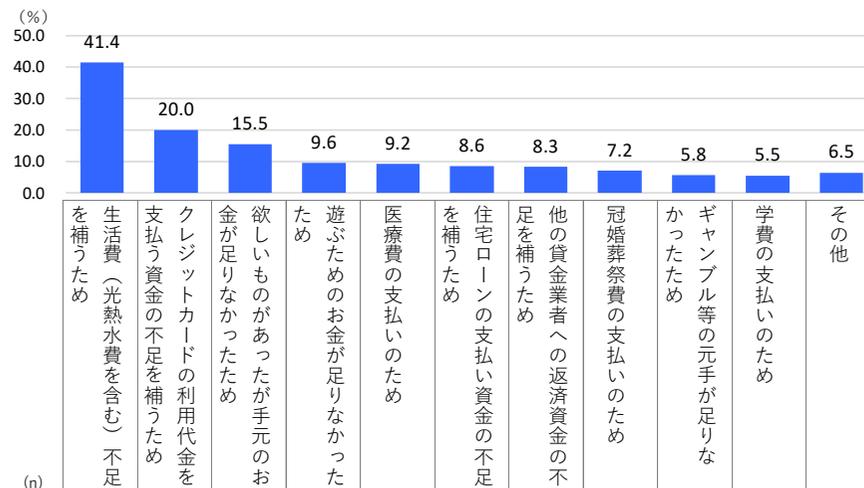
---

## II. 調査結果のまとめ

## 3年以内借入経験者の実態：借入目的 <クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者>

■3年以内借入経験者のうち、クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の利用目的の上位は、「生活費不足の補填」41.4%、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」20.0%、「欲しいもの購入への資金不足の補填」15.5%。（図表1）

【図表1】クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の利用目的



### <傾向>

- 年収別で見ると、「生活費不足の補填」は年収が低いほど回答割合が高くなる傾向。一方、「クレジットカード利用代金の補填」は年収が高くなるほど高い傾向が見られた。
- 職業別で見ると、「生活費不足の補填」は『個人事業主』『派遣・契約社員』『パート・アルバイト・フリーター』での回答割合が高い。

		(n)	生活費不足の補填	クレジットカードの支払い資金不足の補填	欲しいものが入ったが手元のお金が足りなかったため	遊ぶためのお金が足りなかったため	医療費の支払いのため	住宅ローンの支払い資金不足の補填	他の貸金業者への返済資金不足の補填	冠婚葬祭費の支払いのため	ギャンブル等の元手が足りなかったため	学費の支払いのため	その他
利用者全体		2289	41.4	20.0	15.5	9.6	9.2	8.6	8.3	7.2	5.8	5.5	6.5
年収別	0円	168	49.4	13.1	9.5	5.4	5.4	8.3	4.8	6.0	4.2	3.0	10.1
	1~300万円以下	1192	42.7	20.3	14.3	7.4	9.4	8.3	8.0	7.6	4.4	5.5	5.9
	301~500万円以下	540	44.3	18.1	17.8	13.0	8.1	9.1	7.2	4.8	6.7	3.9	5.7
	501~1000万円以下	320	29.4	23.8	20.6	14.4	13.4	9.1	13.8	7.2	10.9	7.2	8.1
	1001万円以上	69	33.3	27.5	10.1	8.7	4.3	7.2	7.2	20.3	2.9	17.4	7.2
職業別	会社員	1312	36.7	22.0	16.3	11.0	9.8	11.4	11.1	7.7	6.7	6.3	4.6
	経営者・役員	52	44.2	23.1	11.5	15.4	7.7	13.5	7.7	9.6	7.7	3.8	1.9
	個人事業主	178	51.1	20.8	10.7	10.7	6.7	5.1	7.9	5.1	3.4	1.7	9.6
	公務員（教職員含む）	94	38.3	21.3	16.0	9.6	8.5	7.4	8.5	6.4	6.4	7.4	6.4
	専門職	80	25.0	21.3	10.0	2.5	10.0	11.3	10.0	13.8	1.3	6.3	2.5
	農林漁業	40	27.5	12.5	15.0	7.5	12.5	5.0	7.5	10.0	5.0	20.0	0.0
	派遣・契約社員	170	60.6	17.1	16.5	12.4	5.3	2.9	4.7	4.1	4.1	2.9	4.7
	パート・アルバイト・フリーター	287	50.9	15.3	18.1	7.3	10.1	6.3	5.6	5.6	5.9	4.5	7.3
	専業主婦/主夫	139	41.0	15.8	15.1	6.5	12.9	10.1	5.0	10.8	7.9	5.0	9.4
	無職	172	40.1	25.6	17.4	6.4	5.2	4.1	5.8	8.7	6.4	2.3	13.4
	学生	101	27.7	20.8	13.9	8.9	12.9	10.9	8.9	7.9	4.0	9.9	3.0

<全体ベースとの比較>

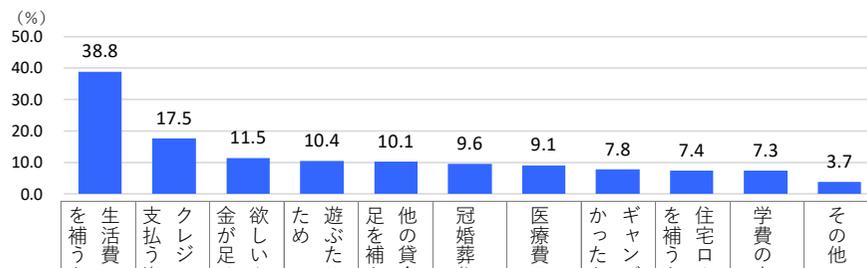
- +10pt以上高い
- +5pt以上高い
- 5pt以下低い
- 10pt以下低い

# 3年以内借入経験者の実態：借入目的 ＜消費者金融利用者＞

3年以内  
借入経験者  
ベース

■ 3年以内借入経験者のうち、消費者金融利用者の利用目的の上位は、「生活費不足の補填」38.8%、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」17.5%、「欲しいもの購入への資金不足の補填」11.5%。（図表2）

【図表2】消費者金融利用者の利用目的



## ＜傾向＞

- 年収別で見ると、「生活費不足の補填」は年収0円または301~500万円以下層で高め。一方、「クレジットカード利用代金の補填」は501~1000万円以下層で高い傾向が見られた。
- 職業別で見ると、「生活費不足の補填」は『派遣・契約社員』『パート・アルバイト・フリーター』で特に高い傾向が見られた。

		(n)	生活費不足の補填	クレジットカードの支払い資金不足の補填	欲しいものがあつたが手元のお金が足りなかつたため	遊ぶためのお金が足りなかつたため	他の貸金業者への返済資金不足の補填	冠婚葬祭費の支払いのため	医療費の支払いのため	買ったため	ギャンブル等の元手が足りなかつたため	住宅ローンの支払い資金不足の補填	学費の支払いのため	その他
利用者全体		1340	38.8	17.5	11.5	10.4	10.1	9.6	9.1	7.8	7.4	7.3	3.7	
年 収 別	0円	96	45.8	10.4	4.2	6.3	11.5	8.3	10.4	8.3	3.1	5.2	6.3	
	1~300万円以下	698	37.8	16.3	11.7	8.3	11.2	9.3	9.0	5.4	7.2	6.7	3.2	
	301~500万円以下	310	44.8	18.7	11.9	12.3	8.4	9.0	6.1	8.4	4.8	6.5	4.8	
	501~1000万円以下	188	31.9	22.9	12.8	16.5	9.6	13.3	11.2	14.9	11.7	9.6	3.7	
	1001万円以上	48	27.1	20.8	14.6	14.6	6.3	4.2	18.8	8.3	18.8	16.7	0.0	
職 業 別	会社員	842	35.0	21.0	11.5	11.4	11.6	11.2	10.1	8.0	8.1	8.8	2.6	
	経営者・役員	39	30.8	25.6	10.3	15.4	10.3	7.7	12.8	5.1	12.8	10.3	2.6	
	個人事業主	82	40.2	18.3	8.5	7.3	11.0	4.9	11.0	3.7	7.3	4.9	6.1	
	公務員（教職員含む）	62	30.6	21.0	11.3	6.5	12.9	8.1	8.1	8.1	6.5	6.5	3.2	
	専門職	69	23.2	21.7	8.7	2.9	17.4	11.6	8.7	0.0	8.7	10.1	1.4	
	農林漁業	31	16.1	12.9	3.2	9.7	9.7	12.9	19.4	6.5	3.2	16.1	0.0	
	派遣・契約社員	101	64.4	13.9	12.9	6.9	4.0	4.0	6.9	9.9	5.9	3.0	3.0	
	パート・アルバイト・フリーター	158	51.9	12.0	16.5	11.4	12.7	4.4	5.7	10.8	6.3	1.3	5.1	
	専業主婦/主夫	55	32.7	12.7	16.4	9.1	10.9	5.5	12.7	12.7	7.3	9.1	5.5	
	無職	55	47.3	12.7	10.9	10.9	10.9	9.1	10.9	7.3	3.6	5.5	12.7	
	学生	78	23.1	16.7	9.0	12.8	6.4	15.4	11.5	5.1	10.3	14.1	0.0	

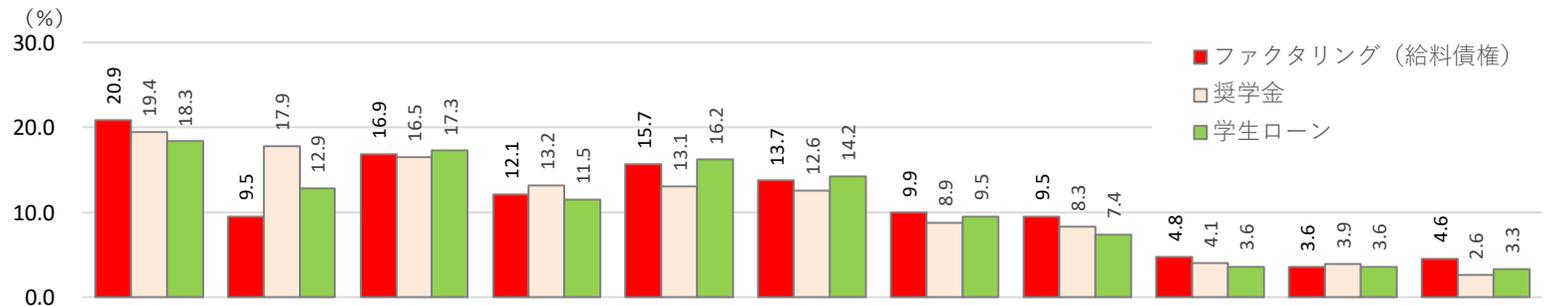
＜全体ベースとの比較＞

- +10pt以上高い
- +5pt以上高い
- -5pt以下低い
- -10pt以下低い

### 3年以内借入経験者の実態：借入目的 ＜ファクタリング（給料債権）・奨学金・学生ローン利用者＞

- 3年以内借入経験者のうち、ファクタリング（給料債権）利用者の利用目的の上位は、「生活費不足の補填」20.9%、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」16.9%、「医療費の支払い」15.7%。
- 奨学金利用目的も「生活費の補填」が最も高く、次いで「学費の支払い」が続く。
- 学生ローン利用目的も「生活費の補填」が最も高く、次いで「クレジットカード利用代金」。（図表3）

【図表3】ファクタリング（給料債権）・奨学金・学生ローン利用者の利用目的



	(n)	生活費不足の補填	学費の支払いのため	金の不足を補うため	クレジットカードの利用代金を支払うため	冠婚葬祭費の支払いのため	医療費の支払いのため	他の貸金業者への返済資金の不足を補うため	住宅ローンの支払い資金の不足を補うため	ギャンブル等の元手が足りなかったため	りなかつたため	遊ぶためのお金が足りなかったため	その他
ファクタリング（給料債権）	503	20.9	9.5	16.9	12.1	15.7	13.7	9.9	9.5	4.8	3.6	4.6	
奨学金	689	19.4	17.9	16.5	13.2	13.1	12.6	8.9	8.3	4.1	3.9	2.6	
学生ローン	660	18.3	12.9	17.3	11.5	16.2	14.2	9.5	7.4	3.6	3.6	3.3	

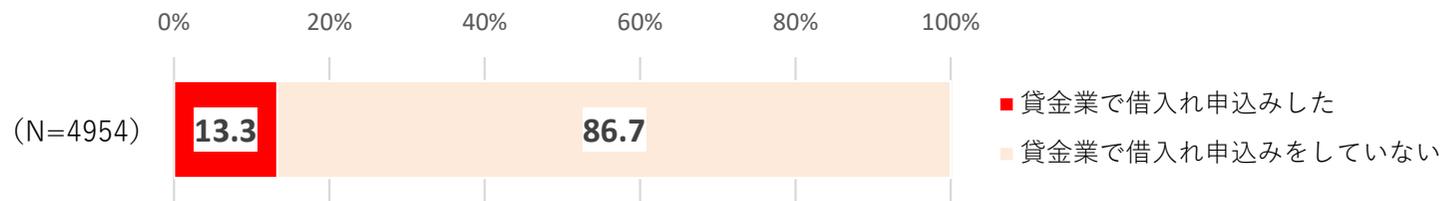
※「奨学金」のスコアで降順

(%)

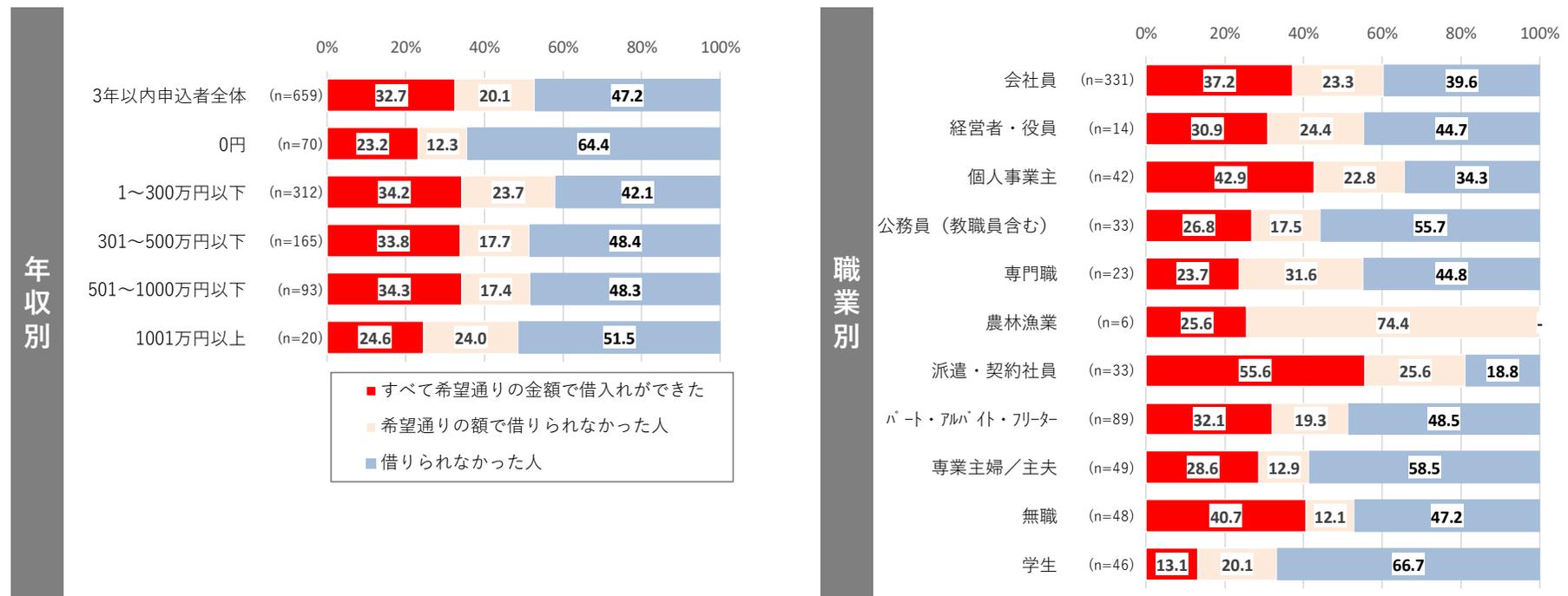
## 最近3年以内の借入状況：希望通りの借入れ有無 ①

■ 最近3年以内に「貸金業で借入申込みをした」のは13.3%、そのうち「全て希望どおりの金額で借入れができた」のは32.7%。（図表4、図表5）

【図表4】最近3年以内の借入れ申込み有無 ※ウエイトバックあり



【図表5】最近3年以内の借入れ申込みと希望金額借入れ有無 ※ウエイトバックあり

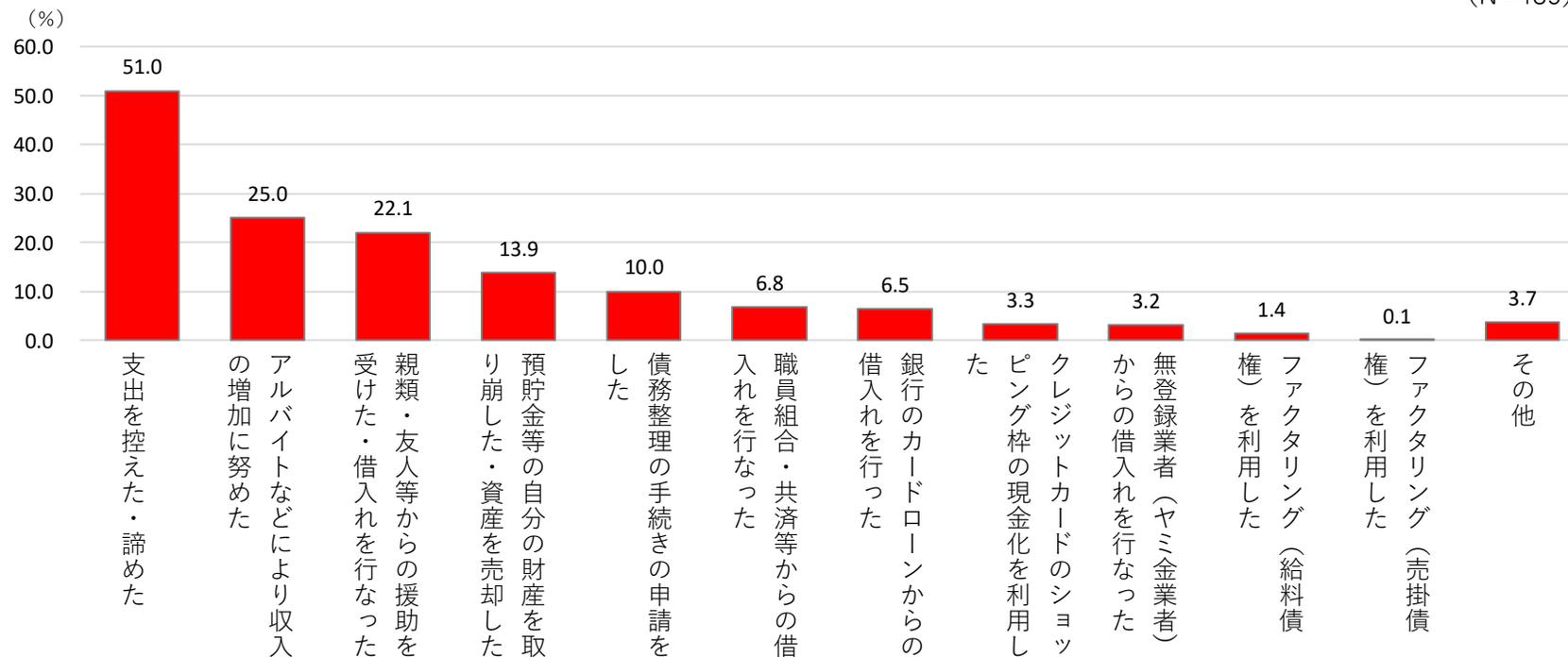


## 最近3年以内の借入状況：希望通りの借入れ有無 ②

■ 希望通りの借入れができなかった時の対応については、「支出を控えた・諦めた」が最も多く51.0%、次いで、「アルバイトなどにより収入の増加に努めた」が25.0%、「親類・友人等からの援助を受けた・借入れを行った」が22.1%が続く。一方、「クレジットカードのショッピング枠の現金化を利用した」は3.3%、「無登録業者（ヤミ金融）からの借入れを行った」は3.2%。（図表6）

【図表6】最近3年以内の借入不可・希望金額借入不可時の対応申込み有無  
(ベース：3年以内貸金申込者で希望通りの借入不可の経験あり) ※ウエイトバックあり

(N=485)

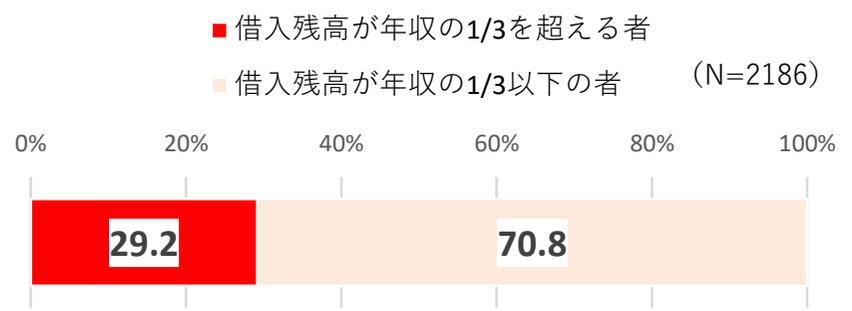


# 借入残高が年収の1/3を超える者の割合／現在の借入残高 ①

3年以内  
借入経験者  
ベース

- 3年以内借入経験者かつ現在借入残高がある者で、借入残高が年収の1/3を超える者※は29.2%。（図表7）
  - 年収別で見ると、年収が低いほど借入残高が年収の1/3を超える者※の割合は高い。（図表8）
  - 現在消費者金融に借入残高がある者にしぼると、借入残高が年収の1/3を超える者※は29.1%。（図表9）
- ※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

【図表7】 借入残高が年収の1/3を超える者の割合  
(ベース：3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)



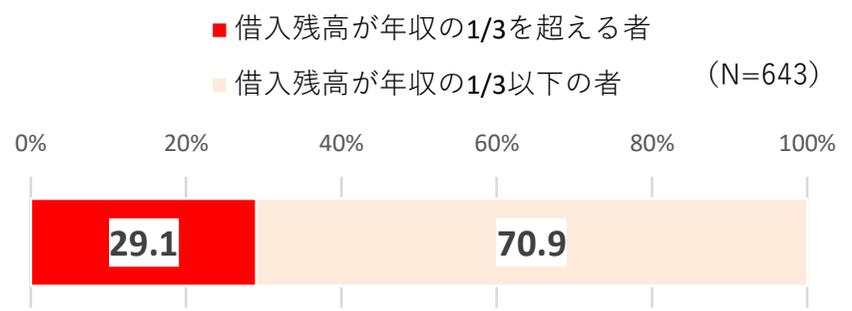
【図表8】 借入残高が年収の1/3を超える者の割合年収・職業別  
(ベース：3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)

年収別	借入残高が年収の1/3を超える者 (%)	
	n	
全体	2186	29.2
0円	125	100.0
1~300万円以下	1149	37.7
301~500万円以下	535	8.2
501~1000万円以下	315	10.2
1001万円以上	62	6.5

職業別	借入残高が年収の1/3を超える者 (%)		
	n		
	会社員	1303	22.0
	経営者・役員	51	51.0
	個人事業主	159	34.0
	公務員（教職員含む）	90	21.1
	専門職	84	47.6
	農林漁業	37	51.4
	派遣・契約社員	169	21.3
	パート・アルバイト・フリーター	288	32.6
	専業主婦／主夫	121	57.0

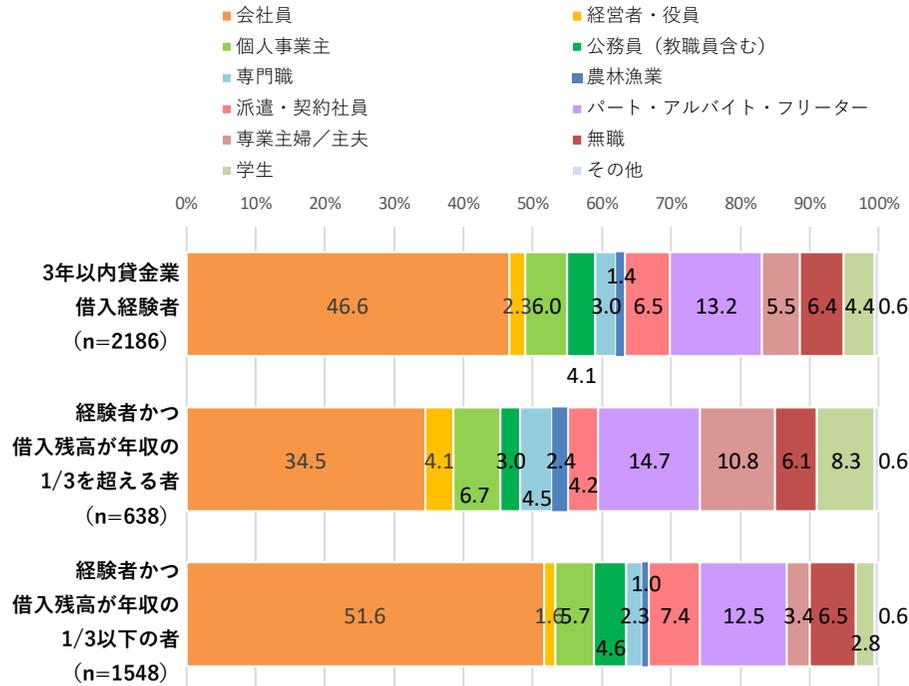
【図表9】 借入残高が年収の1/3を超える者の割合  
(ベース：3年以内借入経験者かつ現在消費者金融に借入残高あり)



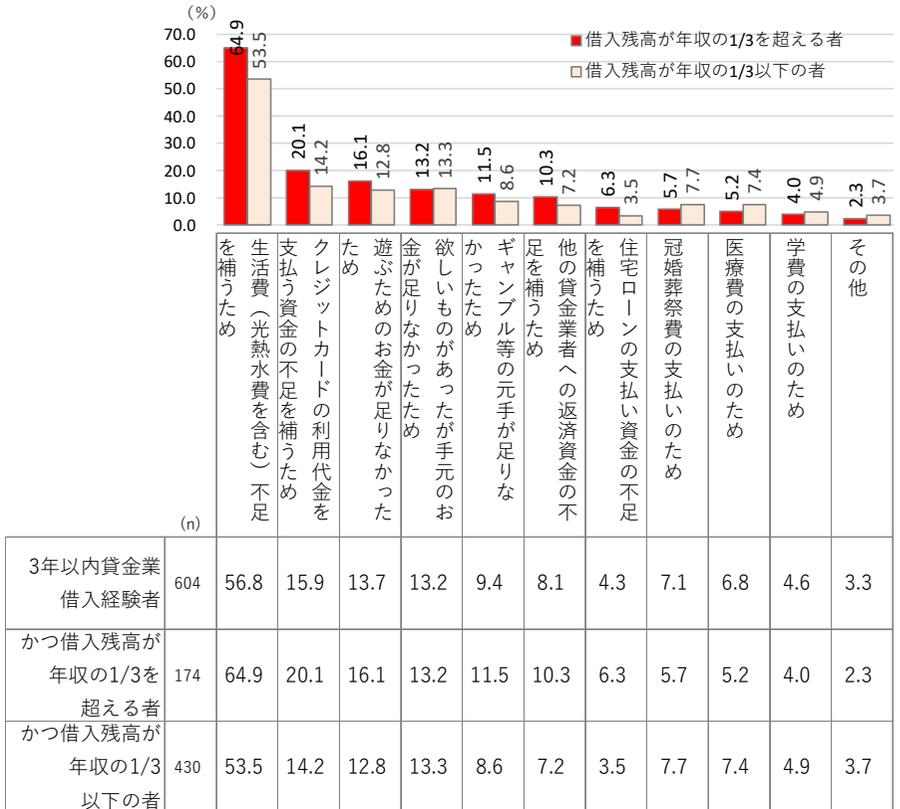
## 借入残高が年収の1/3を超える者の特徴 ②

- 借入残高が年収の1/3を超える者※の職業構成を見ると、全体に比べ『専業主婦／主夫』の割合が高い。(図表10)
- 消費者金融に借入残高のあり借入残高が年収の1/3を超える者※の借入目的は、借入残高が年収の1/3以下の者に比べ「生活費不足の補填」「クレジットカード利用代金支払い不足の補填」などが高い。(図表11) ※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

【図表10】 借入残高が年収の1/3を超える者の職業  
(ベース：3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)



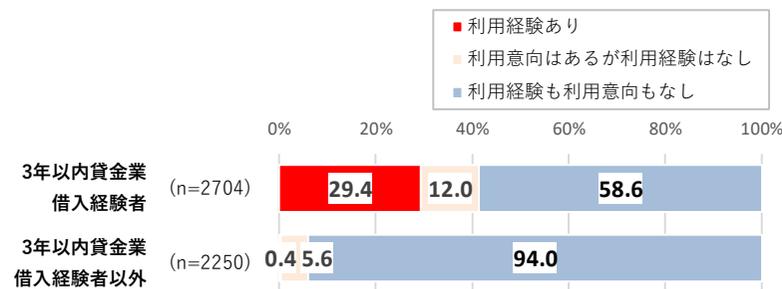
【図表11】 借入残高が年収の1/3を超える者の消費者金融借入目的  
(ベース：消費者金融から3年以内借入ありかつ現在借入残高あり)



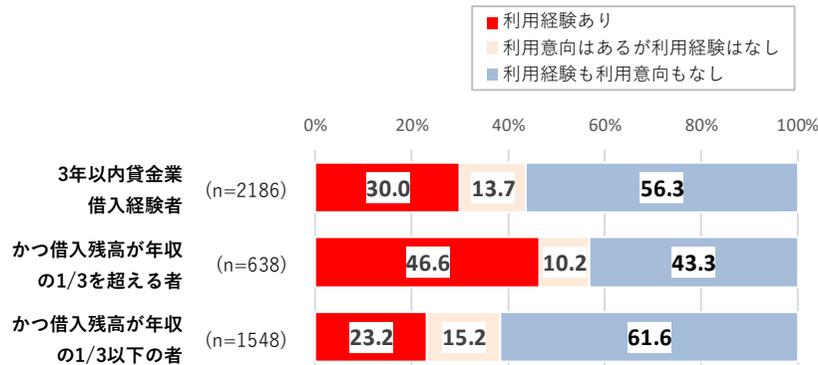
## 『無登録業者（ヤミ金融）』の利用経験

- 3年以内借入経験者のうち、『無登録業者（ヤミ金融）』の「利用経験あり」は29.4%、「利用意向があったが利用経験なし」は12.0%。（図表12）
  - 3年以内借入経験者で現在借入残高のある者で借入残高が年収の1/3を超える者※のうち、『無登録業者（ヤミ金融）』の「利用経験あり」は46.6%、「利用意向があったが利用経験なし」は10.2%。（図表14）
- ※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。  
 ※今回調査ではオノフモニターを使用。  
 ※前回調査結果との乖離要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症による影響も考えられる。

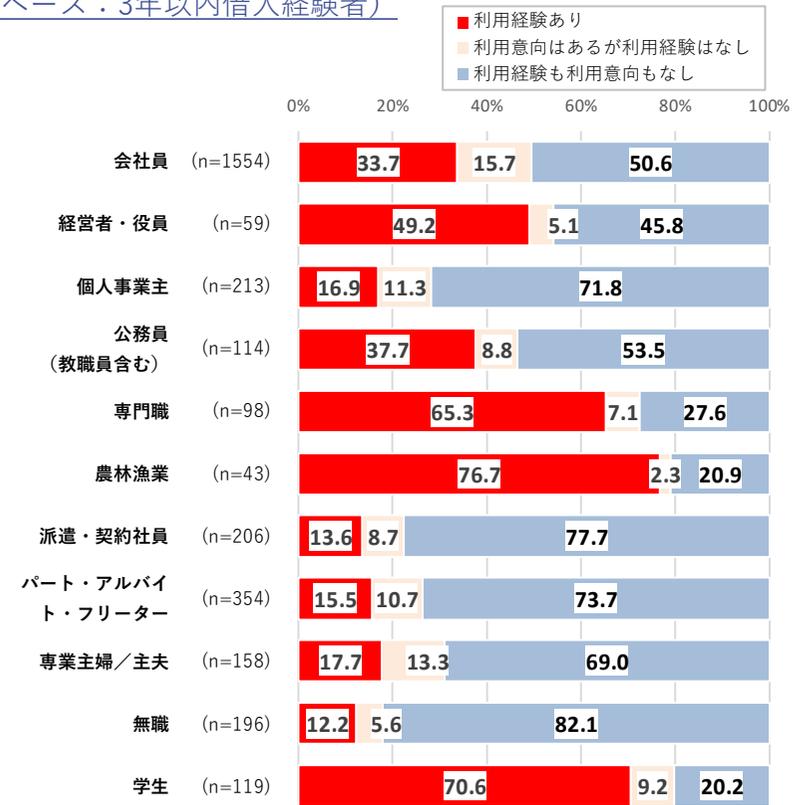
【図表12】 無登録業者（ヤミ金融）の利用経験



【図表14】 無登録業者（ヤミ金融）の利用経験：借入残高が年収の1/3を超える者の割合  
（ベース：3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり）



【図表13】 無登録業者（ヤミ金融）の利用経験：職業別  
（ベース：3年以内借入経験者）

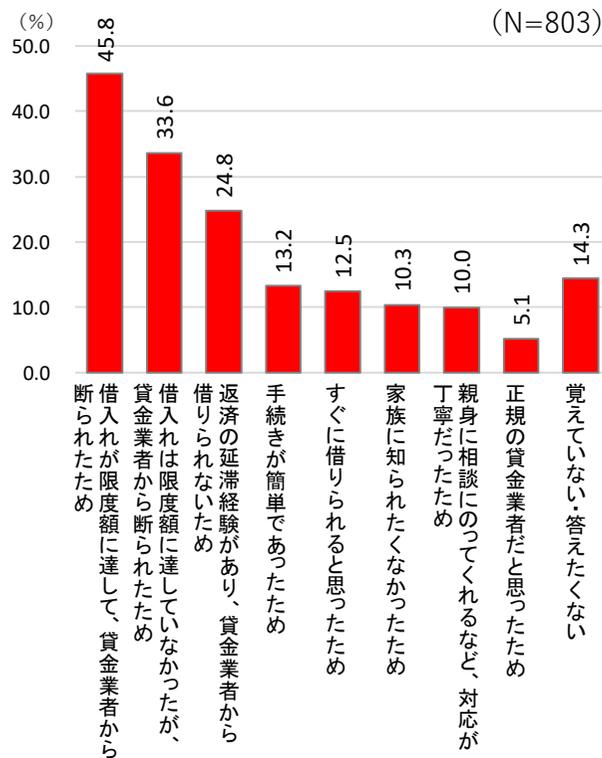


## 『無登録業者（ヤミ金融）』の利用理由等

- 無登録業者（ヤミ金融）利用経験者の利用理由について、「限度額に達して貸金業者から断られたため」が最も高く45.8%、次いで「限度額ではないが貸金業者から断られたため」が33.6%。（図表15）
- 無登録業者（ヤミ金融）との接触のきっかけは、「インターネットの広告」が34.6%で最多。（図表16）
- 無登録業者（ヤミ金融）を利用した感想は、「金利の負担が重かった」が23.9%、「生活（事業）が悪化した」が17.8%、「取立てが厳しかった」が17.3%で上位。（図表17）

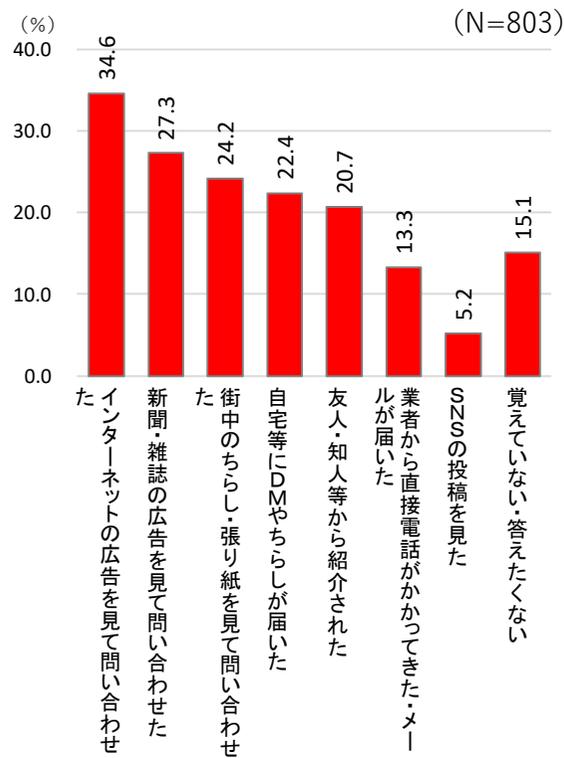
【図表15】

無登録業者（ヤミ金融）の利用理由  
（ベース：無登録業者利用経験者）



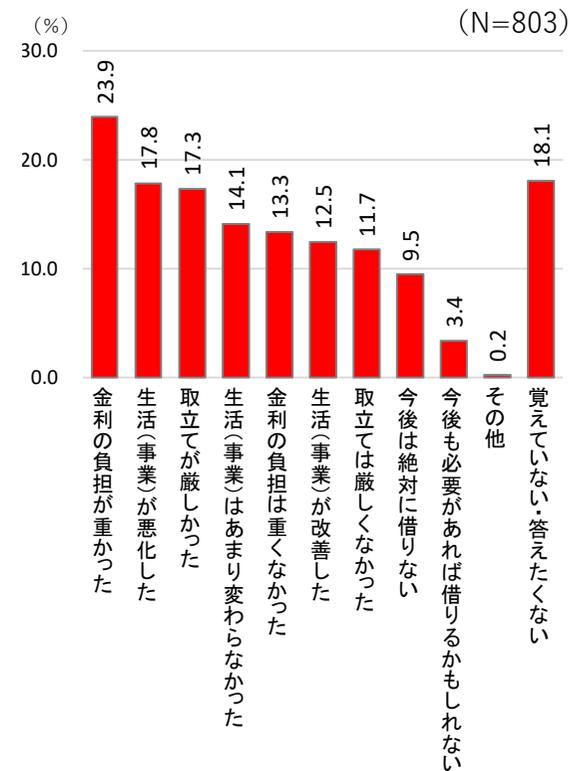
【図表16】

無登録業者（ヤミ金融）の接触契機  
（ベース：無登録業者利用経験者）



【図表17】

無登録業者（ヤミ金融）からの借入れの感想  
（ベース：無登録業者利用経験者）

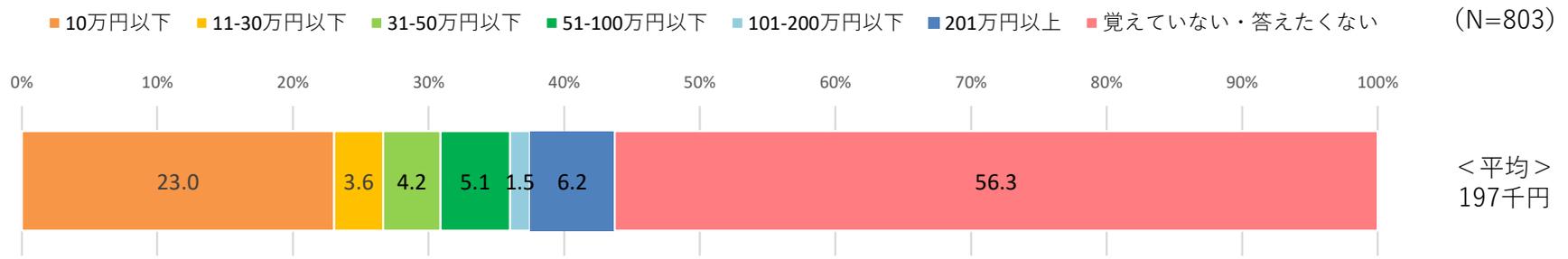


# 『無登録業者（ヤミ金融）』の利用理由等

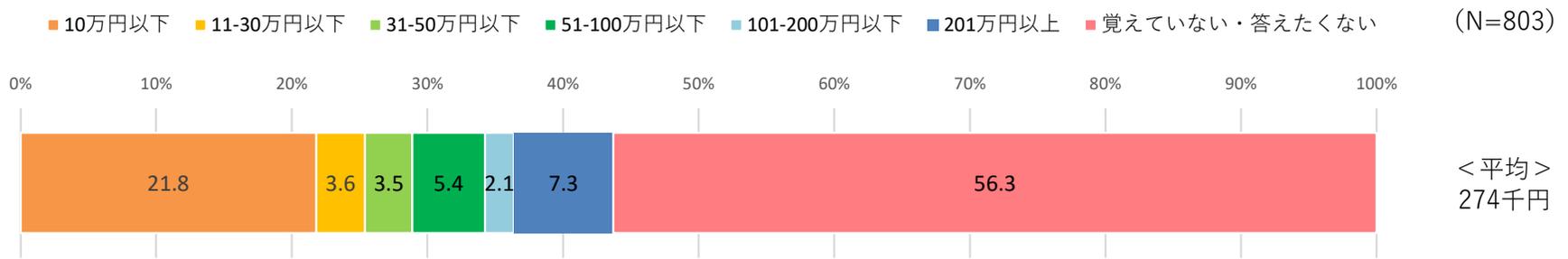
無登録業者  
借入経験者  
ベース

- 『無登録業者（ヤミ金融）』利用経験者の借入元本は、「1～10万円以下」が23.0%。ただし、半数以上は「覚えていない・答えたくない」と回答。（図表18）
- 『無登録業者（ヤミ金融）』利用経験者の返済総額は、「1～10万円以下」が21.8%。ただし、半数以上は「覚えていない・答えたくない」と回答。（図表19）

【図表18】借入元本（ベース：無登録業者利用経験者）



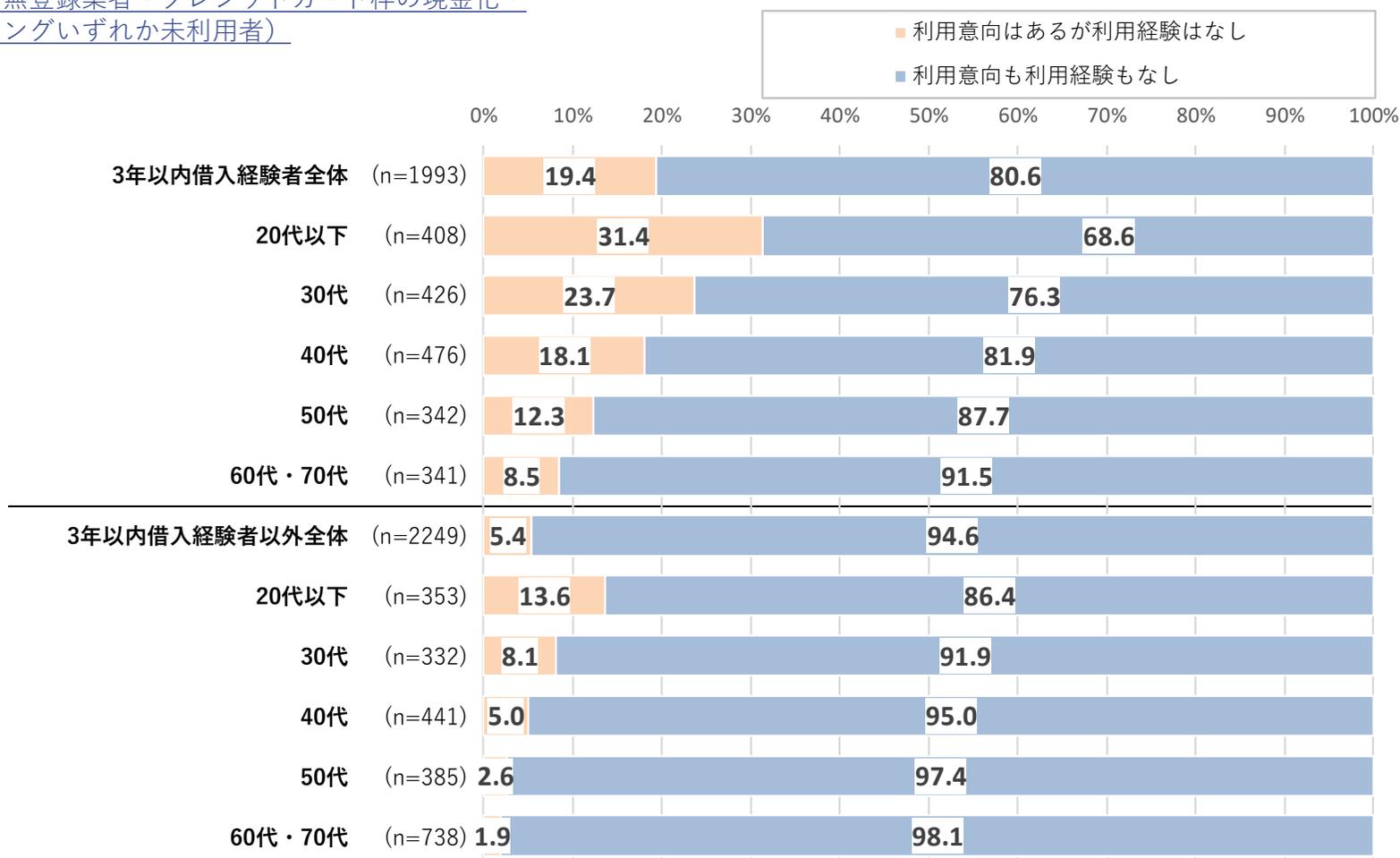
【図表19】返済総額（ベース：無登録業者利用経験者）



## SNSを利用した個人間融資の利用意向

■ SNS個人間融資の「利用経験はないが利用意向がある」人について、3年以内借入経験者では19.4%、年代別でみると「20代以下」が31.4%、「30代」が23.7%で若いほど意向が高い。一方、3年以内借入経験者以外では5.4%で、年代別では「20代以下」が13.6%と比較的高め。（図表20）

【図表20】 SNSを利用した個人間融資の利用意向  
 （ベース：無登録業者・クレジットカード枠の現金化・  
 ファクタリングいずれか未利用者）



## 『セーフティネット』※の認知

- 3年以内借入経験者における『セーフティネット』の認知は「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が61.8%で最も高く、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が続く。詳細認知では「財務局や地方自治体設置の多重債務専門の相談窓口」が19.7%で最も高い。（図表21）
- 「借入残高が年収の1/3を超える者※」の認知では「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が67.9%で最も高く、次いで「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が続く。詳細認知では「財務局や地方自治体が設置している相談窓口」が25.4%で最も高い。（図表21）

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない。

※「セーフティネット」とは、多重債務者など、金銭面で生活が苦しい状況に陥っている方を救済することを目的とした制度で、公的な機関などが相談窓口となっている。

【図表21】セーフティネット認知／詳細認知 ※全体のみウェイトバックあり

n	財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口		法テラス、国民生活センターの相談窓口		弁護士会、司法書士会の相談窓口		生活協同組合や労働金庫・信用組合で行っている貸付制度		各都道府県の社会福祉協議会が行なう生活福祉資金貸付制度		日本貸金業協会・全国銀行協会による貸付自粛制度		
	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	
全体	4954	24.5	4.4	40.6	7.5	43.5	7.2	23.5	4.2	22.9	4.8	16.0	3.4
3年以内貸金業借入経験者	2704	49.2	19.7	61.8	19.7	60.5	19.1	44.7	14.3	44.7	15.6	40.7	14.9
かつ借入残高が年収の1/3を超える者	638	56.9	25.4	67.9	23.8	66.0	22.7	56.3	19.6	57.1	19.6	53.4	20.5
かつ借入残高が年収の1/3以下の者	1548	51.1	19.6	63.6	19.6	63.5	19.5	46.3	14.0	44.7	15.3	40.9	14.2
3年以内借入経験者以外	2250	22.7	3.3	39.0	6.6	42.2	6.3	21.9	3.5	21.3	4.0	14.1	2.6
かつ貸金積極意向層	123	52.0	25.2	61.0	21.1	56.1	20.3	45.5	15.4	47.2	16.3	46.3	15.4
かつ貸金許容層	398	27.6	3.0	43.0	7.3	45.2	7.0	25.1	3.8	23.6	4.0	13.8	2.0
かつ貸金拒否層	1729	19.4	1.8	36.6	5.4	40.5	5.1	19.4	2.5	18.9	3.1	11.9	1.8

※「認知計」＝「詳細な内容まで知っていた」＋「聞いたことはあるが詳細な内容までは知らなかった」

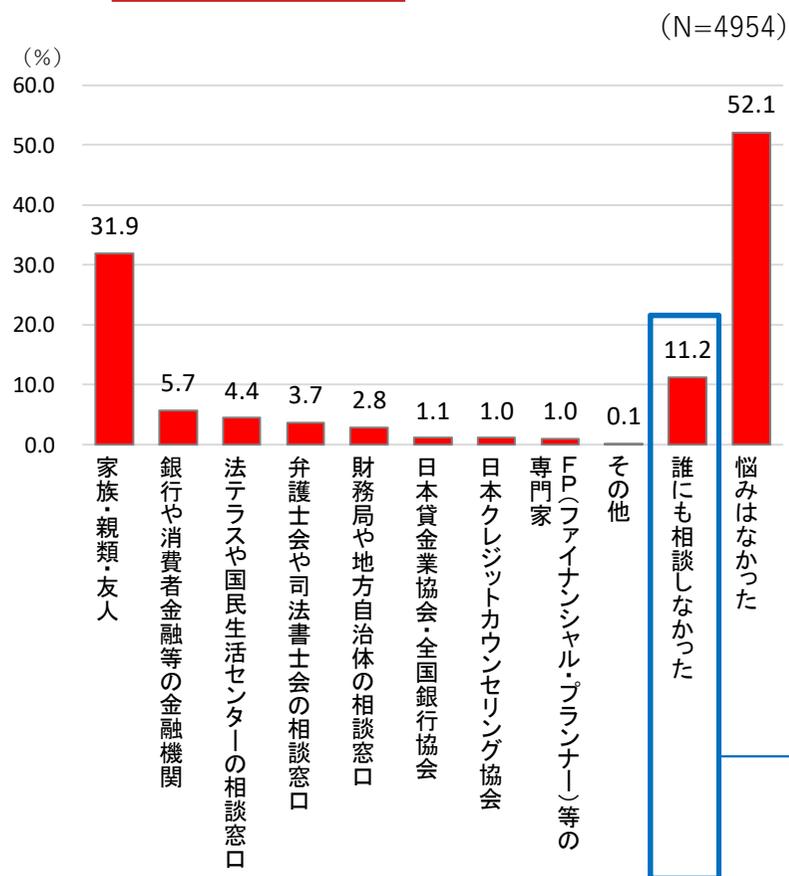
※ピンク枠は各層で、「認知計」「詳細認知」が最も高い機関・相談窓口

## 家計や借入れの悩み相談先

- 全体では、家計や借入れの悩みの相談先として「家族・親類・友人」が31.9%で最も高い。「悩みはなかった」は半数超の52.1%。（図表22）
- 相談しなかった理由として「相談する必要性を感じなかったから」が41.6%で最多。（図表23）

【図表22】家計や借入れの相談先

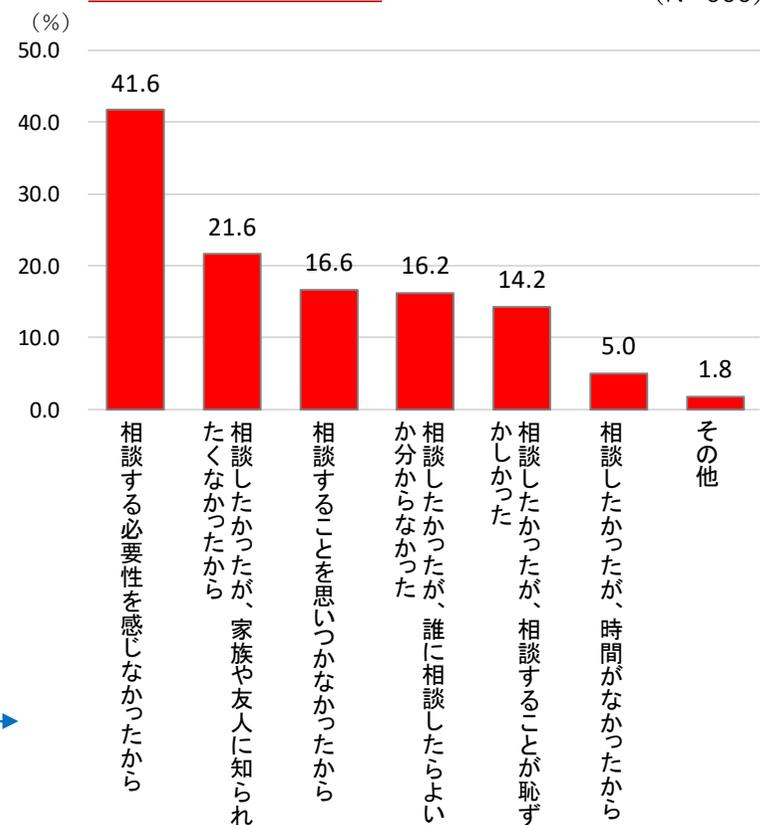
※ウェイトバックあり



【図表23】相談しなかった理由

(ベース：誰にも相談しなかった方)

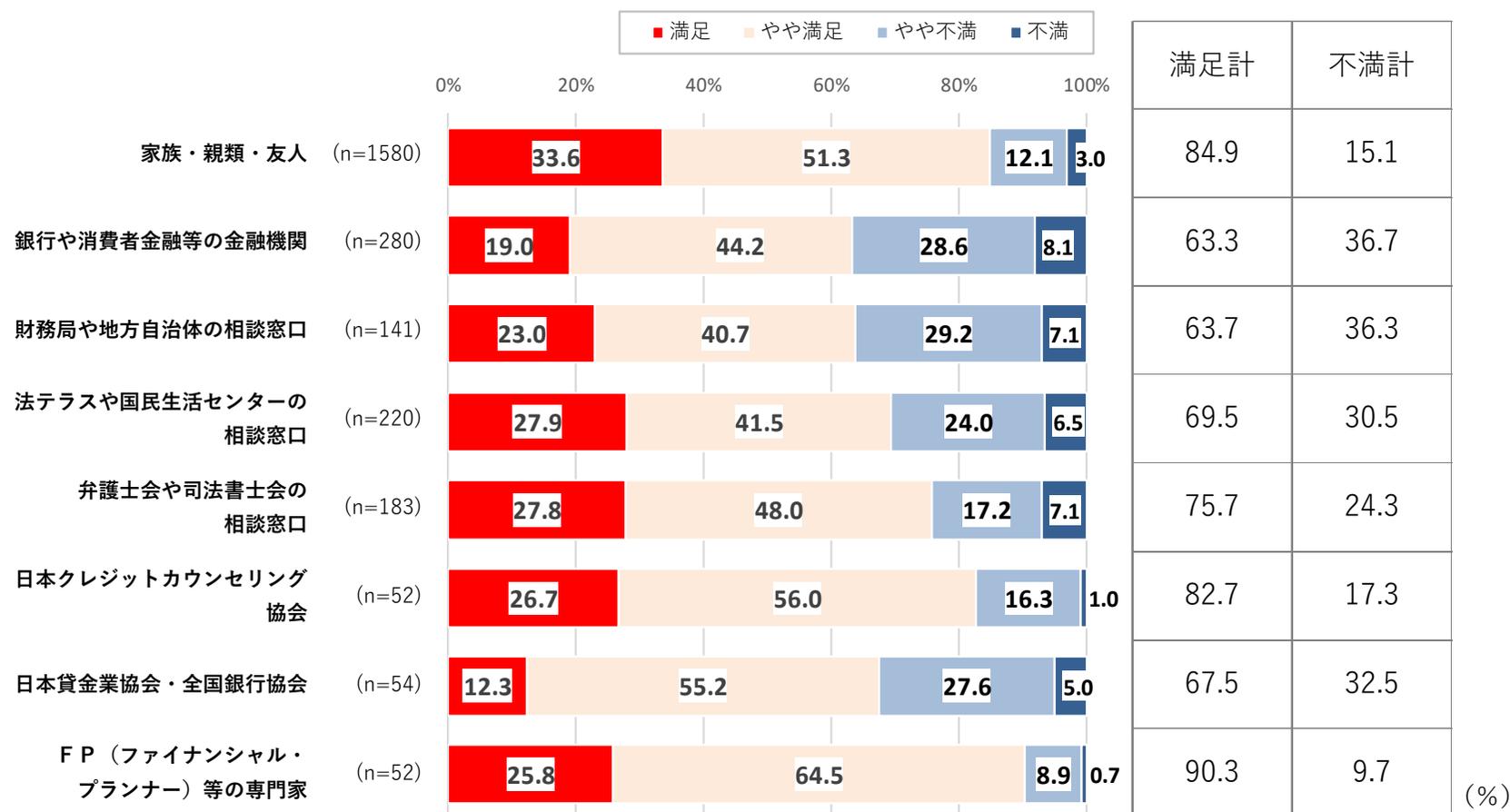
※ウェイトバックあり



## 家計や借入れの悩み相談先満足度

■ 家計や借入れの悩み相談先の満足度について、「満足計」では「FP等の専門家」が最も高く90.3%。次いで「家族・親類・友人」が84.9%で続く。一方「不満計」が最も高いのは「銀行や消費者金融等の金融機関」で36.7%。（図表24）

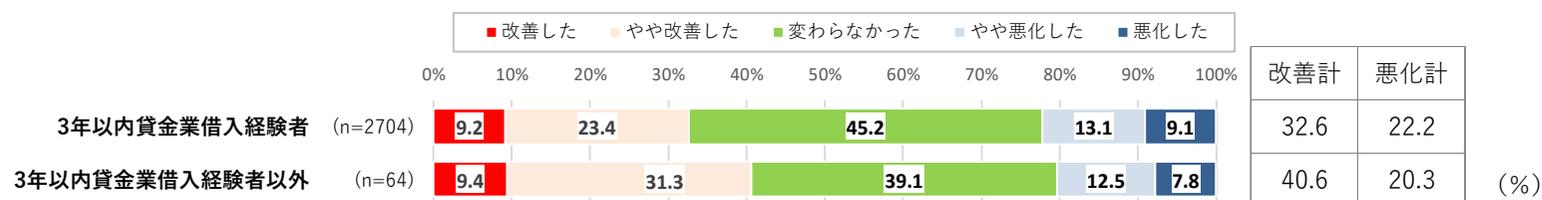
【図表24】 家計や借入れの悩み相談先の満足度（ベース：各相談先への相談者）※ウェイトバックあり



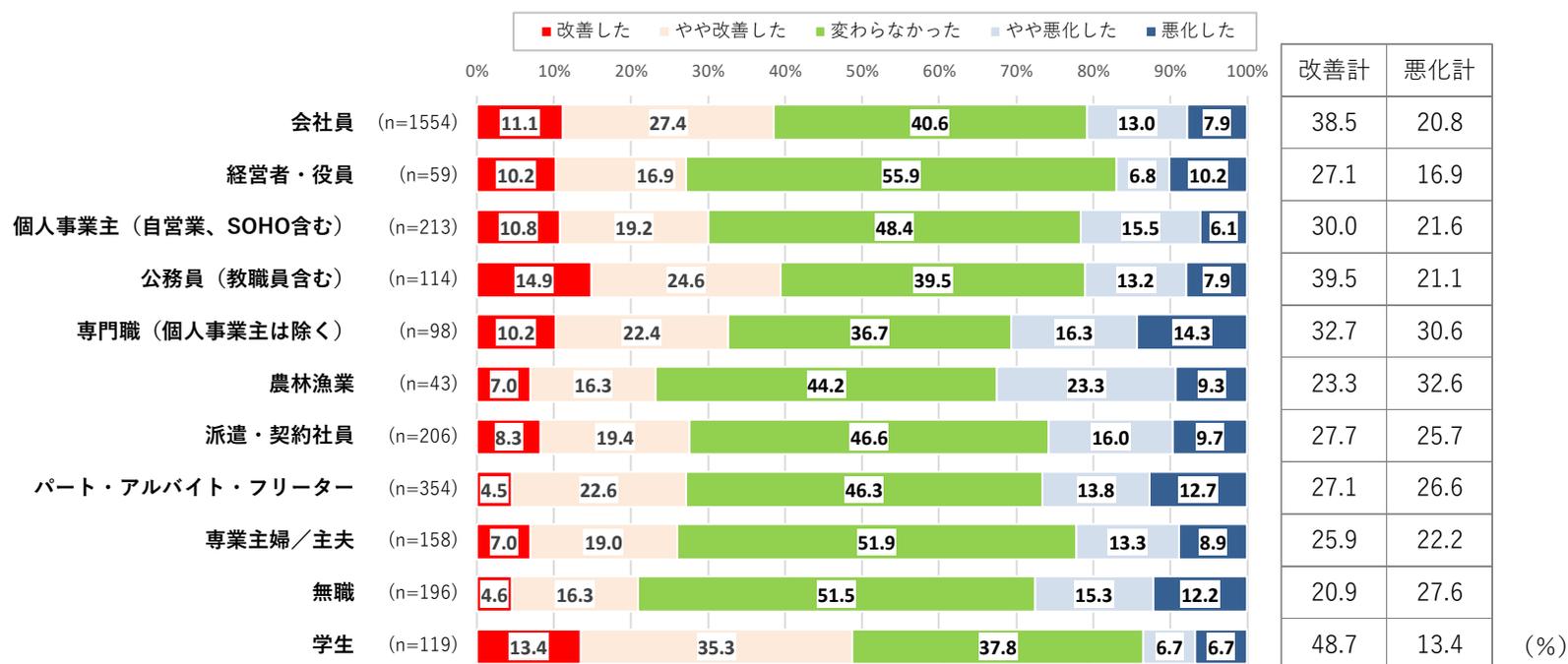
## 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化

- 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化では、3年以内借入経験者は「改善した計」は32.6%。（図表25）
- 3年以内借入経験者を職業別で見ると、「改善した計」では「学生」が最も高く48.7%。次いで「公務員」「会社員」が続く。一方「悪化した計」では「農林漁業」「専門職」が高め。（図表26）

【図表25】 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化



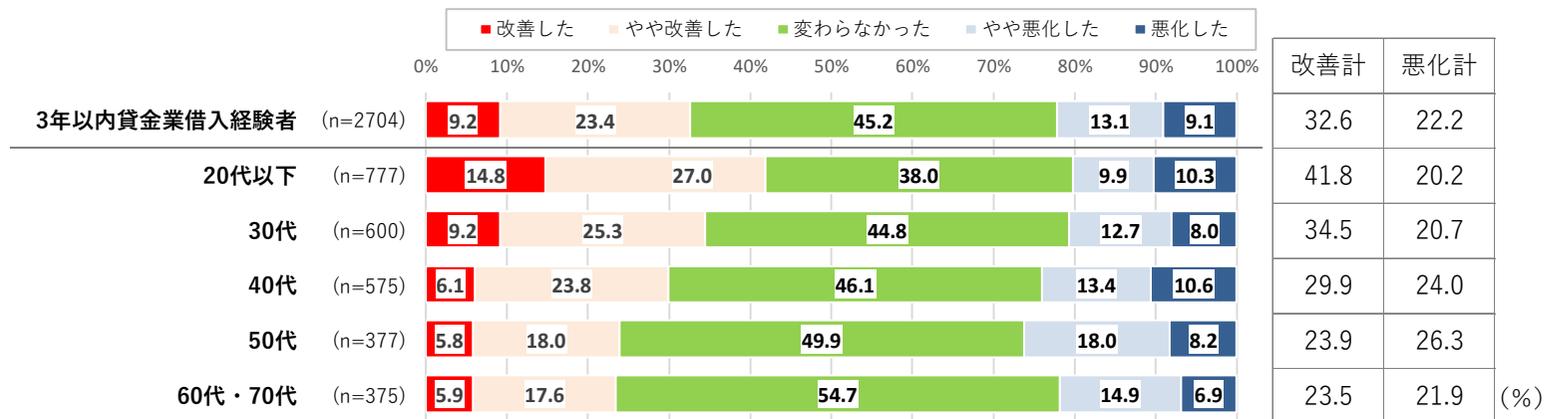
【図表26】 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 職業別（ベース：3年以内借入経験者）



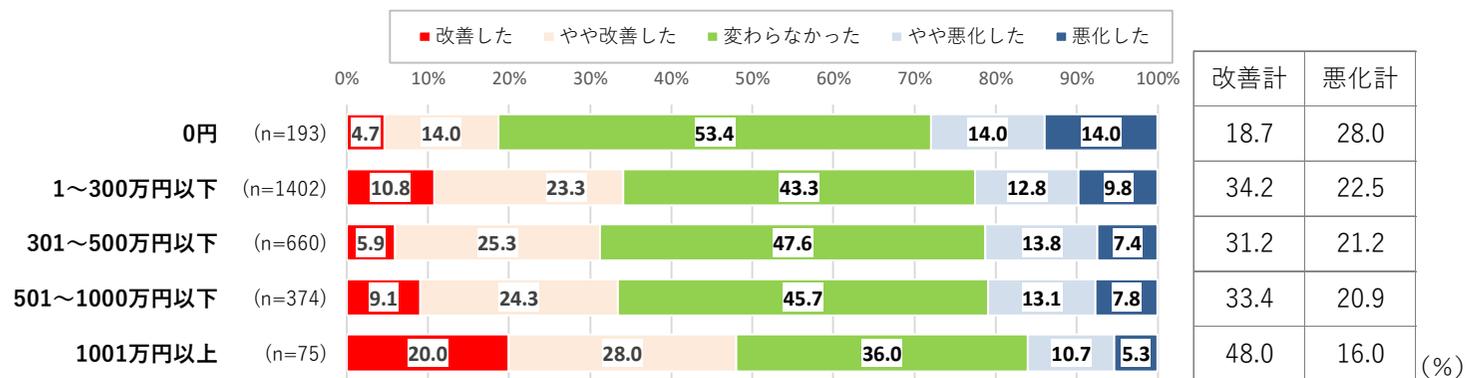
## 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 年代別／年収別

- 各種ローン利用後の家計変化を年代別で見ると「改善した計」は20代で41.8%と高い。若年層ほど改善計は高い。一方「悪化した計」では50代が26.3%で最も高い。（図表27）
- 同様に年収別で見ると「改善した計」では「1001万円以上」が最も高く48.0%。（図表28）

【図表27】 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 年代別（ベース：3年以内借入経験者）



【図表28】 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 年収別（ベース：3年以内借入経験者）



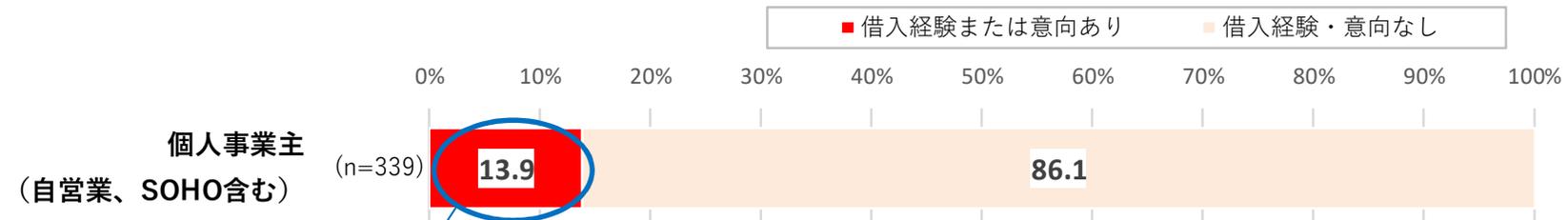
---

# III. 個人事業主向け調査結果のまとめ

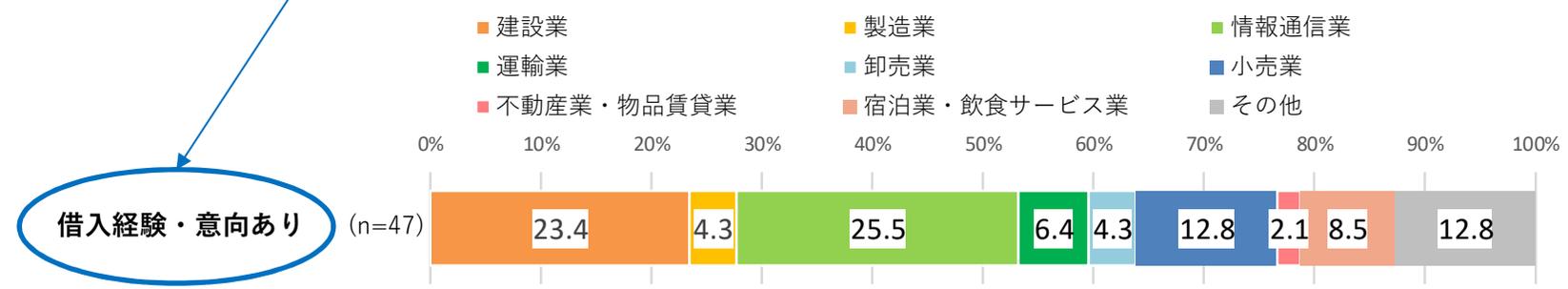
## 事業者のプロフィール

■ 個人事業主で貸金業からの事業資金の借入経験・意向者は13.9%。(図表29)  
 ■ その職種を見ると、「情報通信業」が25.5%と最も高く、次いで「建設業」が23.4%、「小売業」が12.8%と続く。(図表30)

【図表29】 事業資金の借入経験がある個人事業主のうち、貸金業から事業資金の借入経験者・意向者 (ベース：個人事業主)



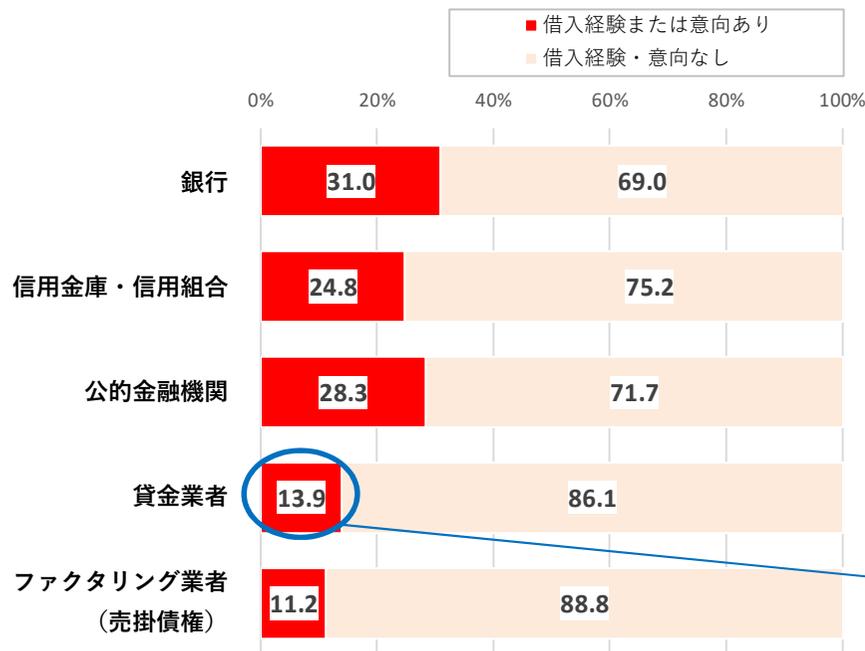
【図表30】 個人事業主で貸金業からの借入経験者・意向者の職種 (ベース：個人事業主のうち、貸金業から借入経験者・意向者)



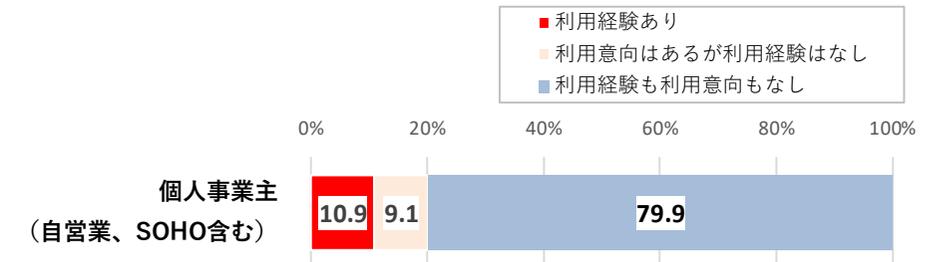
## 事業者の事業資金の借入れ等の状況

- 個人事業主の事業資金の借入先・意向先については、「銀行」が最も高く31.0%、次いで「公的金融機関」28.3%。（図表31）
- 個人事業主のうち、『無登録業者（ヤミ金融）』の利用経験がある者は10.9%、利用意向はあったが利用経験はない者は9.1%。（図表32）
- 個人事業主のうち、事業資金の貸金業からの借入経験（利用意向含む）のある者で、『無登録業者（ヤミ金融）』の利用経験がある者は55.3%、利用意向はあったが利用経験はない者は19.1%。（図表33）

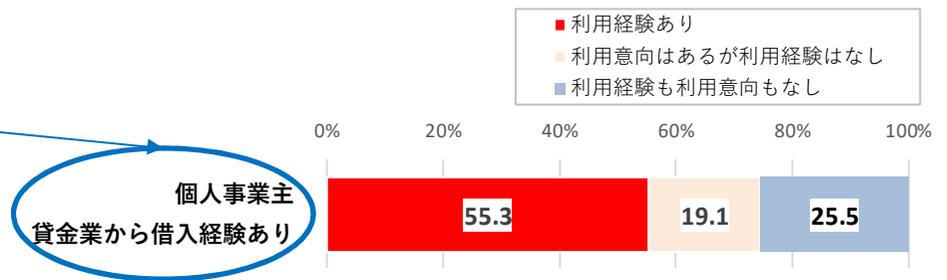
【図表31】 事業資金の借入経験・意向  
(ベース：個人事業主) (N=339)



【図表32】 無登録業者（ヤミ金）の利用経験  
(ベース：個人事業主) (N=339)



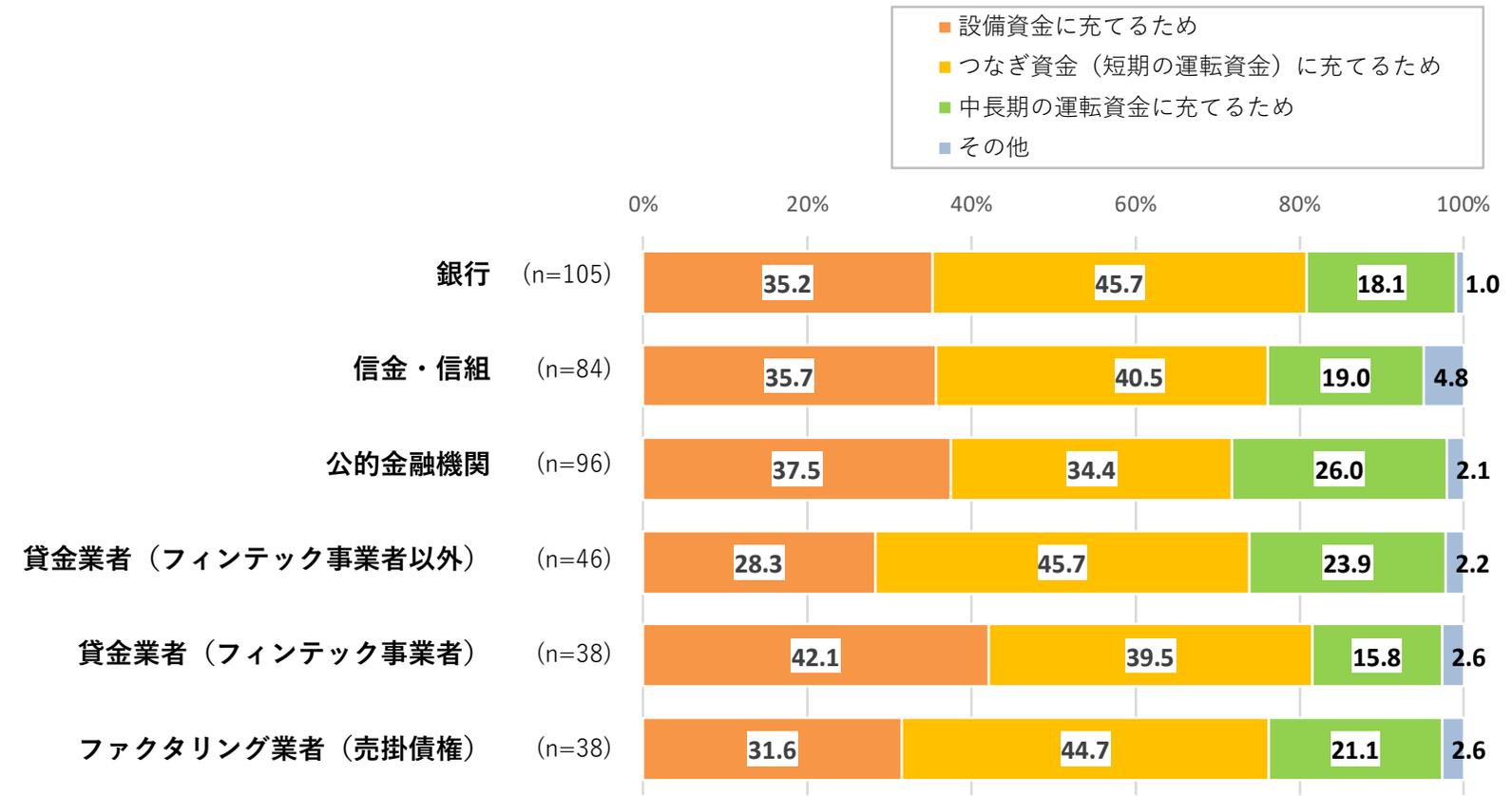
【図表33】 無登録業者（ヤミ金）の利用経験  
(ベース：個人事業主のうち貸金業から事業資金借入経験・意向者) (N=47)



## 事業者の事業資金の借入れ等の状況

■ 事業資金の借入目的を借入先別で見ると、『銀行』及び『貸金業者（フィンテック事業者以外）』の「つなぎ資金」がともに45.7%と高い。（図表34）

【図表34】 事業資金の借入目的（ベース：個人事業主のうち事業資金借入経験者・意向者）



---

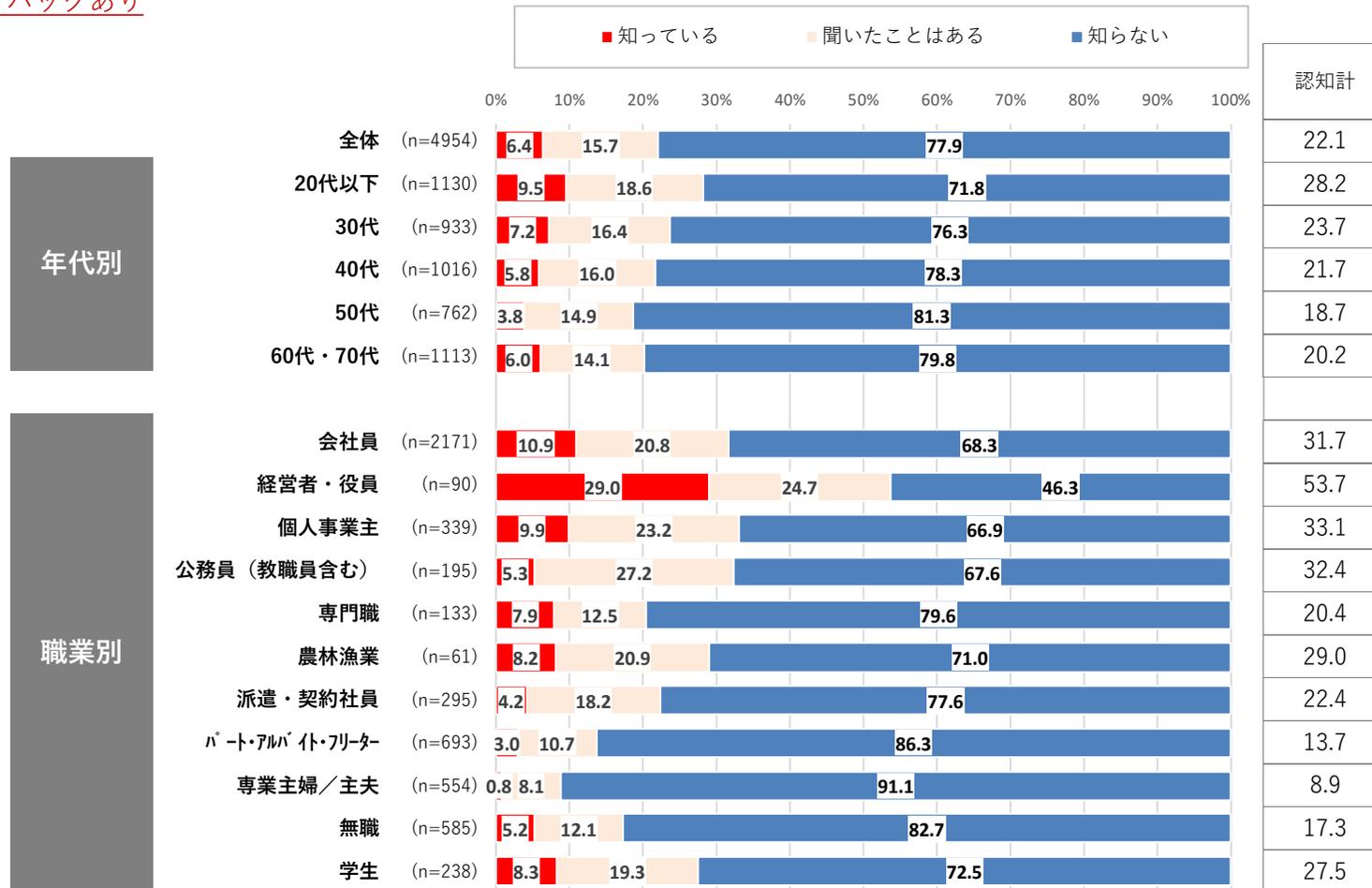
## IV. ファクタリングの認知状況の 結果まとめ

## 「ファクタリング」の認知 <年代別・職業別>

- 「ファクタリング」の認知率は、全体ベースで22.1%。（図表35）
- 年代別では若年層ほど「認知計」が高く、20代以下では28.2%。
- 職業別では「経営者・役員」が非常に高く認知率は53.7%。「個人事業主」「公務員」も高め。

【図表35】 「ファクタリング」の認知：年代別・職業別

※ウエイトバックあり

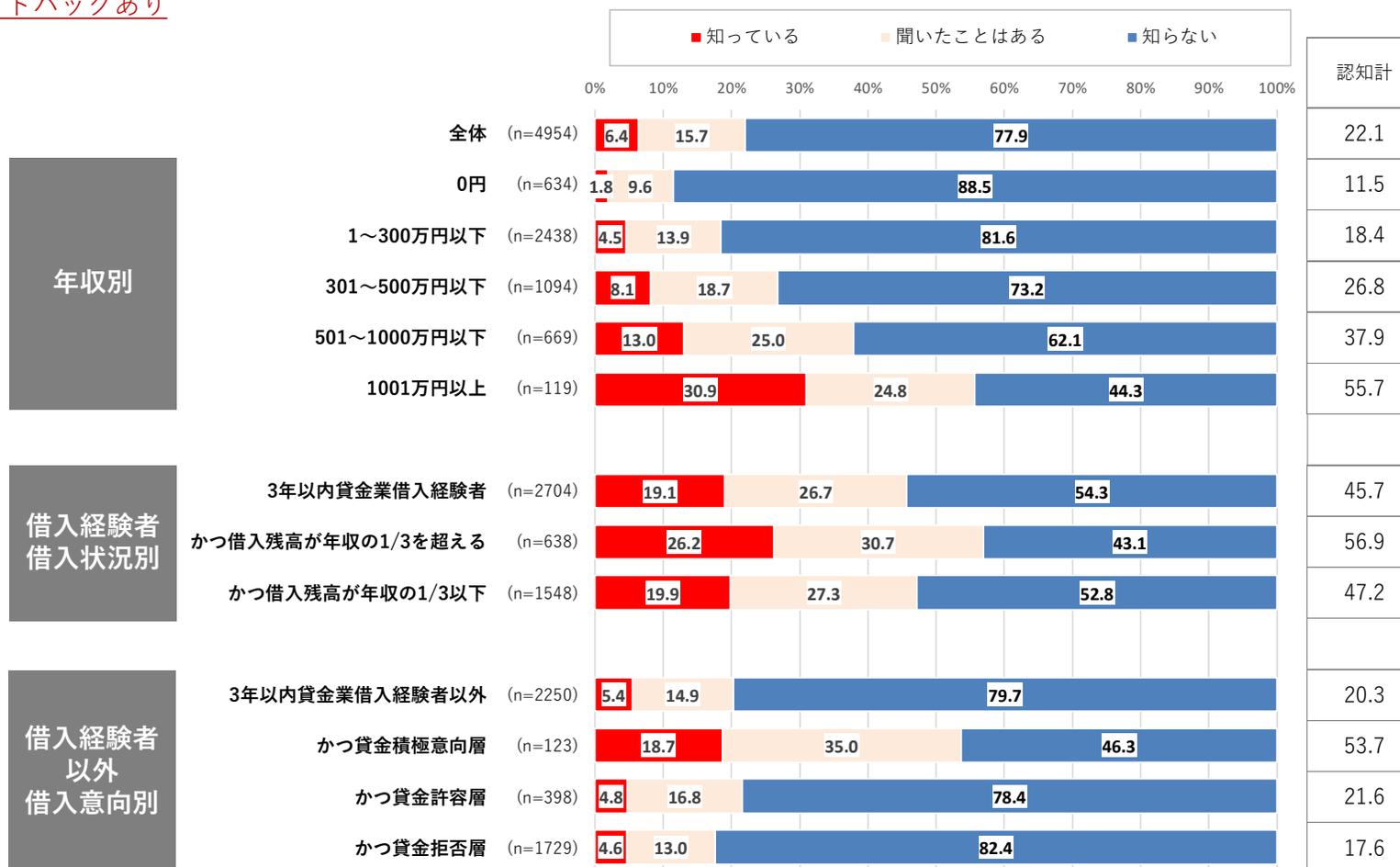


## 「ファクタリング」の認知 <年収別・借入状況別>

- 年収別で見ると、年収が高いほど「認知計」が高い傾向が見られる。
- 借入経験者では「認知計」が45.7%と高く、特に「借入残高年収1/3超」は56.9%と高い。
- 借入経験者以外では「認知計」は20.3%。その中で「貸金積極意向層」は53.7%と高め。(図表36)

【図表36】「ファクタリング」の認知：年収・借入状況別

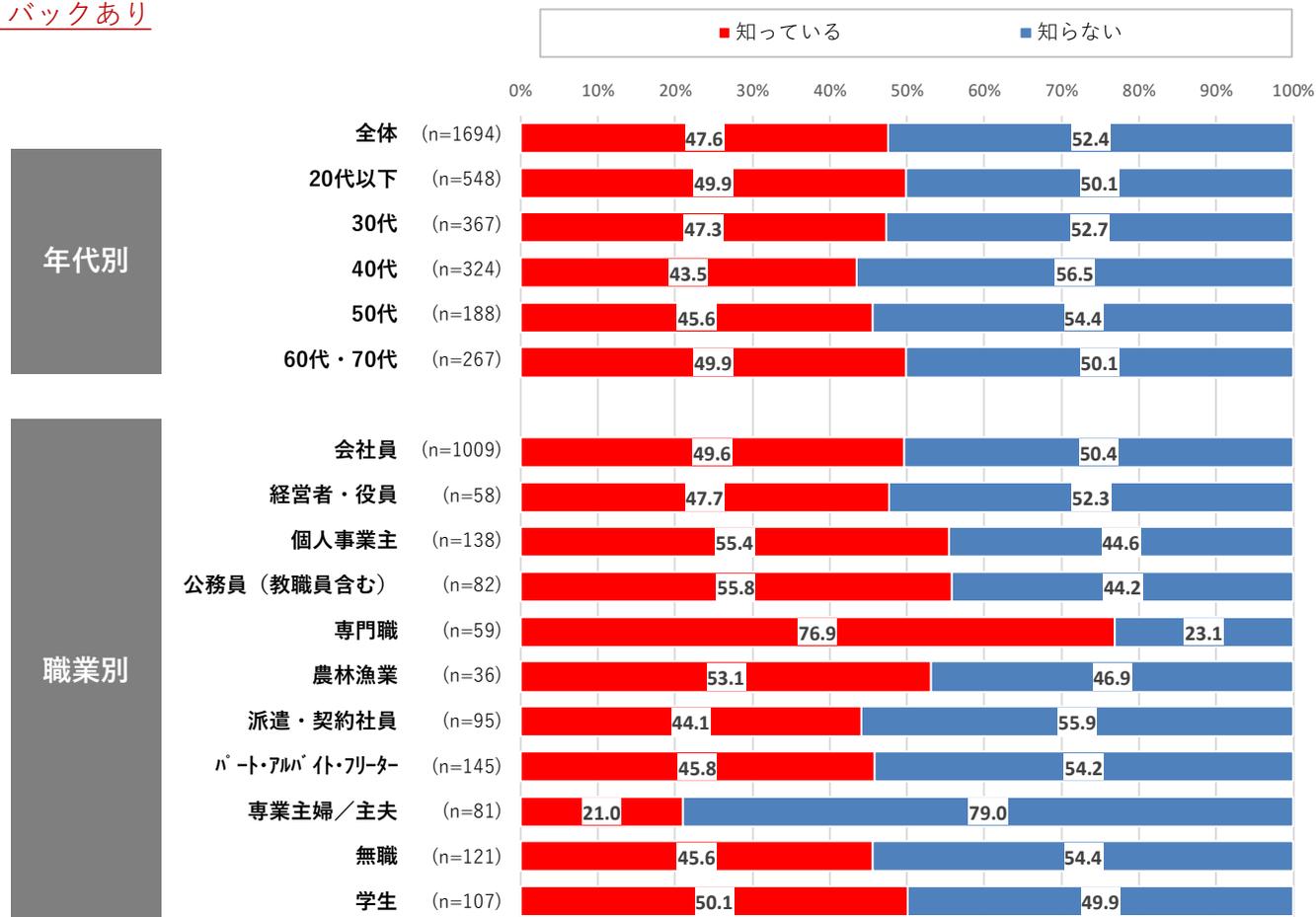
※ウエイトバックあり



## 「無登録の給与ファクタリング業者は違法」の認知 <年代別・職業別>

- 「無登録の給与ファクタリング業者は違法」の認知率は、全体ベースで47.6%。（図表37）
- 年代別では大きな差は見られなかった。
- 職業別では「専門職」の認知率が非常に高く76.9%。

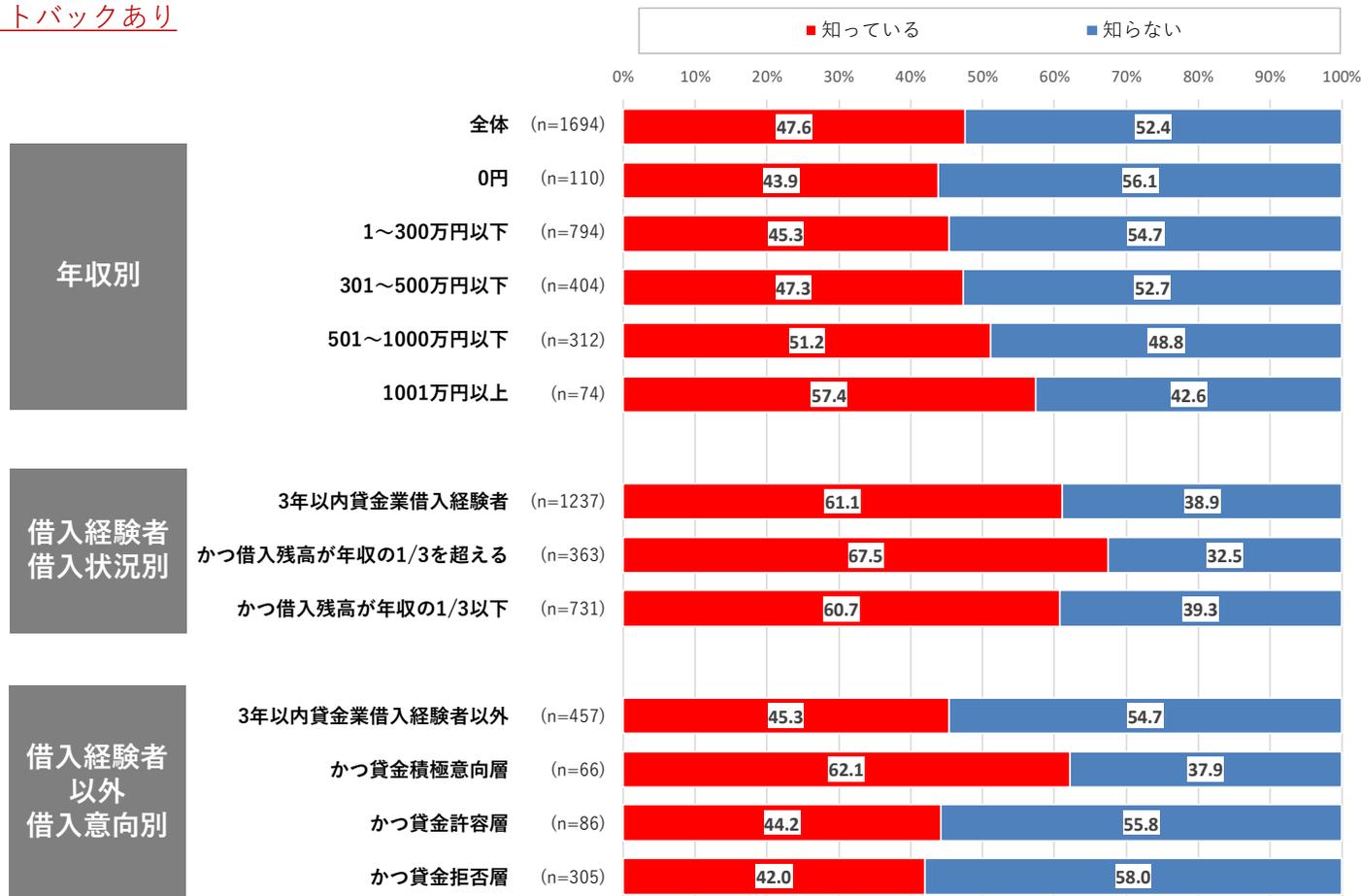
【図表37】 「無登録の給与ファクタリング業者は違法」  
の認知：年代別・職業別  
※ウエイトバックあり



## 「無登録の給与ファクタリング業者は違法」の認知 < 年収別・借入状況別 >

- 年収別で見ると、年収が高いほど認知率が高い傾向が見られる。
- 借入経験者では認知率が61.1%と高く、特に「借入残高が年収の1/3超」は67.5%と高い。
- 借入経験者以外の認知率は45.3%。その中で「貸金積極意向層」は62.1%と高め。（図表38）

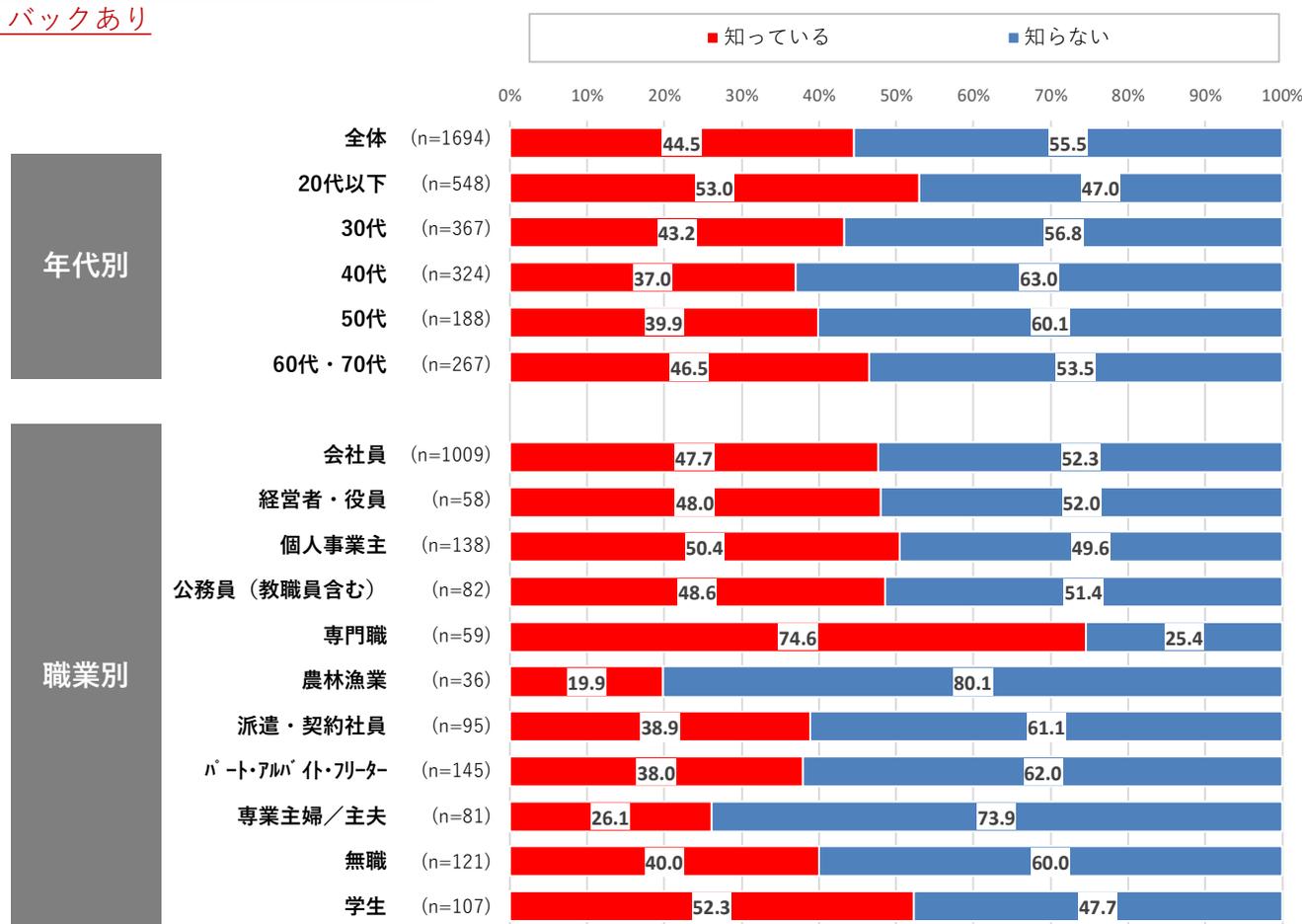
【図表38】「無登録の給与ファクタリング業者は違法」  
の認知：年収・借入状況別  
※ウエイトバックあり



## 「無登録の売掛債権ファクタリング業者も違法のケースあり」の認知 <年代別・職業別>

- 「無登録の売掛債権ファクタリング業者も違法のケースあり」の認知率は、全体で44.5%。（図表39）
- 年代別では、20代以下が最も高く53.0%。
- 職業別では「専門職」の認知率が非常に高く74.6%。

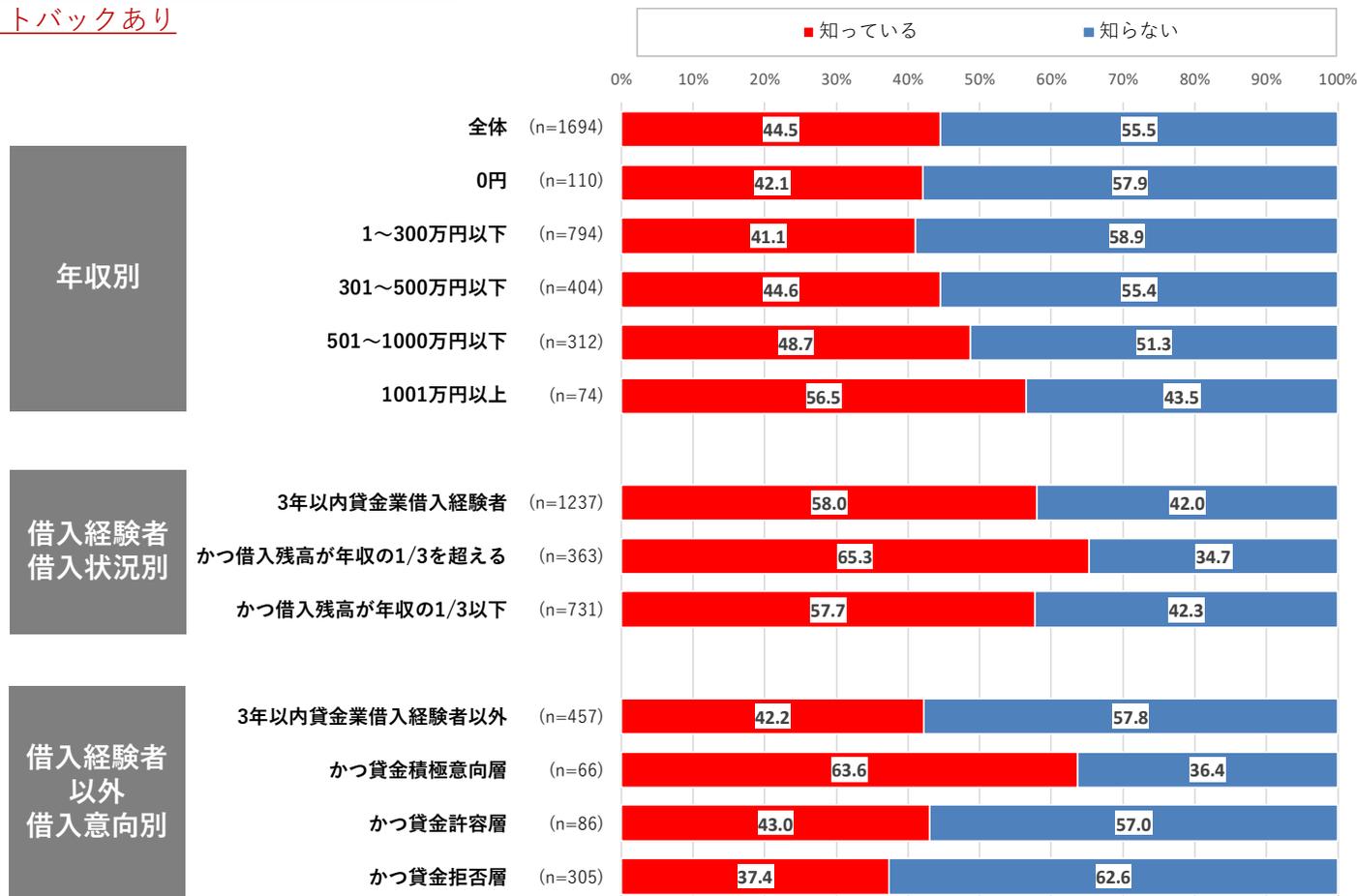
【図表39】 「無登録の売掛債権ファクタリング業者も違法のケースあり」の認知：年代別・職業別  
 ※ウエイトバックあり



## 「無登録の売掛債権ファクタリング業者も違法のケースあり」の認知 <年収別・借入状況別>

- 年収別で見ると、年収が高いほど認知率が高い傾向が見られる。
- 借入経験者では認知率が58.0%と高めで、特に「借入残高が年収1/3超」は65.3%と高い。
- 借入経験者以外の認知率は42.2%。その中で「貸金積極意向層」は63.6%と高め。（図表40）

【図表40】「無登録の売掛債権ファクタリング業者も違法のケースあり」の認知：年収・借入状況別  
※ウエイトバックあり



---

# V. ギャンブル等を目的とした借入経験者の 結果まとめ

## ギャンブル等を目的とした借入経験者のプロフィール ①

- ギャンブル等を目的とした借入経験者の年代を見ると、「20代以下」が31.2%と最も多く、次いで「30代」が23.5%と続く。30代以下で全体の半数超を占める。平均年齢は39.2歳。（図表41）
- ギャンブル等を目的とした借入経験者の性別を見ると、「男性」が72.6%と大半を占める。（図表42）

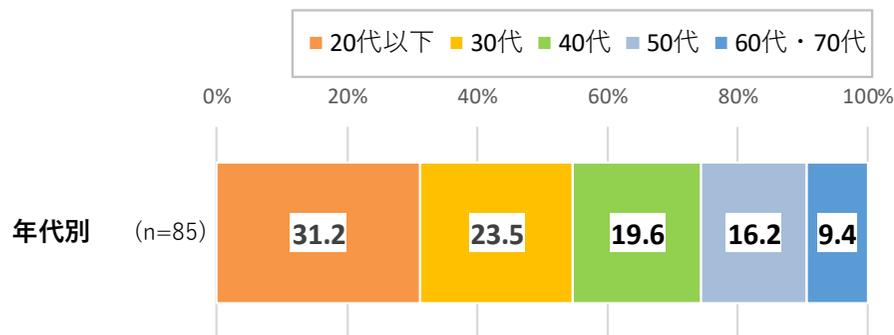
### 『ギャンブル等を目的とした借入経験者』

最近3年以内に、「銀行のカードローン」、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローン」、「手形割引業者」、「無登録業者（ヤミ金融）からの借入れ」、「クレジットカードのショッピング枠の現金化」「ファクタリング（給料債権）（売掛債権）」「奨学金」「学生ローン」のいずれかで「ギャンブル等の元手が足りなかったため」を目的とした借入経験がある方。

#### 【図表41】年代

（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者）

※ウェイトバックあり

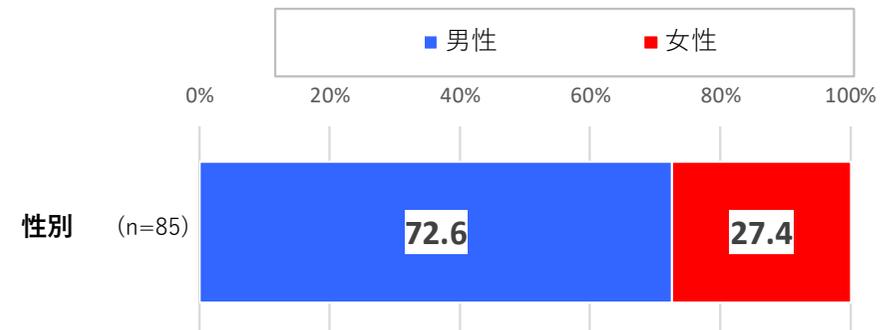


平均年齢：39.2歳

#### 【図表42】性別

（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者）

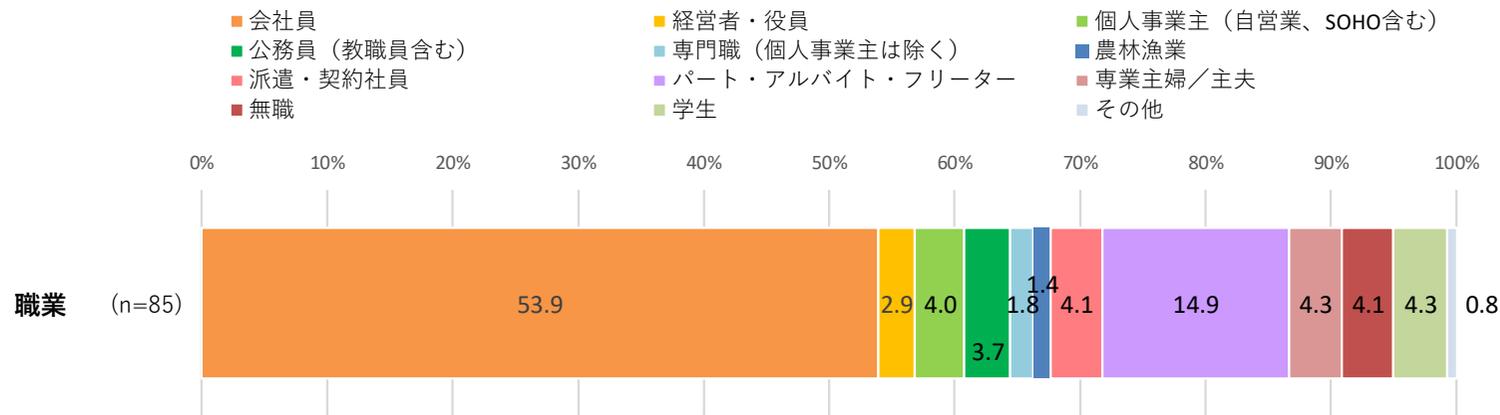
※ウェイトバックあり



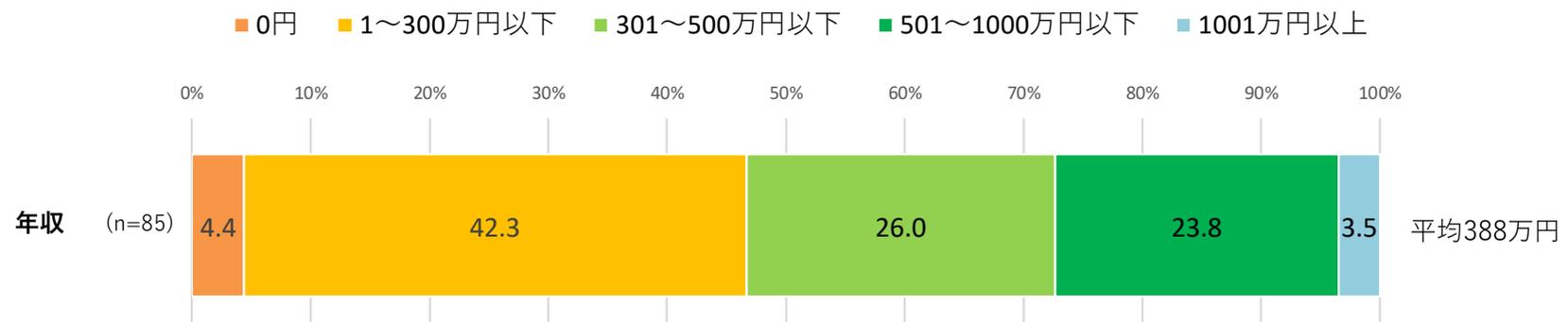
## ギャンブル等を目的とした借入経験者のプロフィール ②

- ギャンブル等を目的とした借入経験者の職業は「会社員」が53.9%と最多。（図表43）。
- ギャンブル等を目的とした借入経験者の年収は「1～300万円以下」が42.3%と最も多く、次いで「301～500万円以下」が26.0%と続く。（図表44）

【図表43】 職業（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者） ※ウエイトバックあり



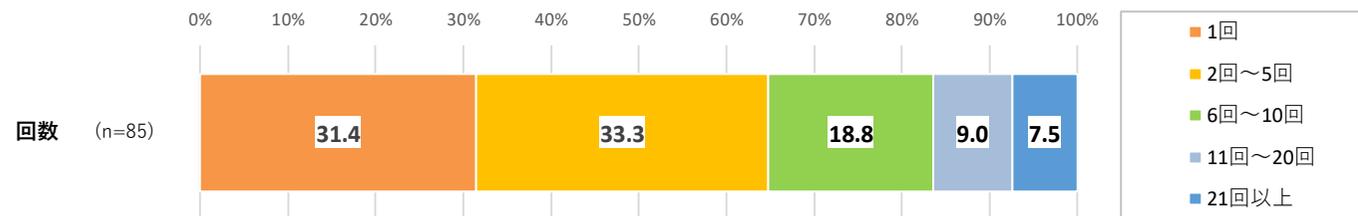
【図表44】 年収（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者） ※ウエイトバックあり



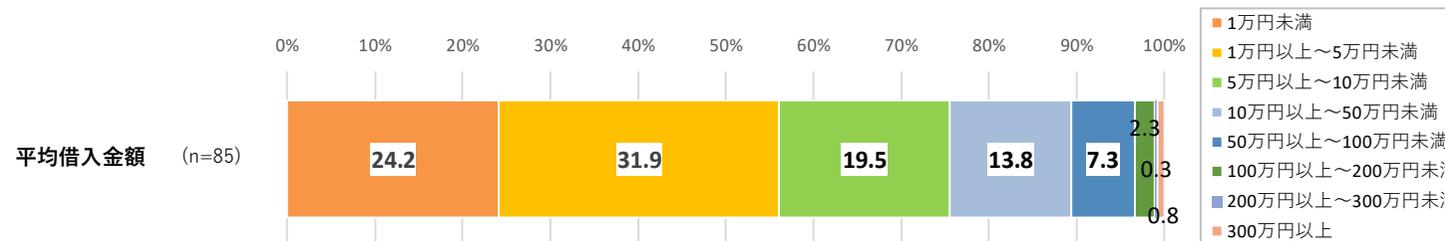
## ギャンブル等を目的とした借入経験者の借入状況

- ギャンブル等を目的とした借入件数は「2～5回」が33.3%と最多。（図表45）
- ギャンブル等を目的とした借入れの平均金額は「1万円以上～5万円未満」が31.9%と最多。（図表46）
- ギャンブル等を目的とした借入れの現在残高は「1万円未満」が24.3%と最多。（図表47）

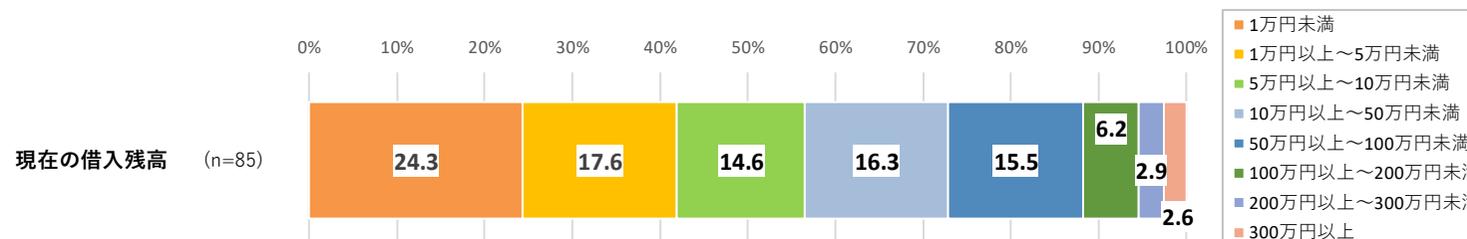
【図表45】 ギャンブル等を目的とした借入回数（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者） ※ウエイトバックあり



【図表46】 ギャンブル等を目的とした借入の直近3年平均金額（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者） ※ウエイトバックあり



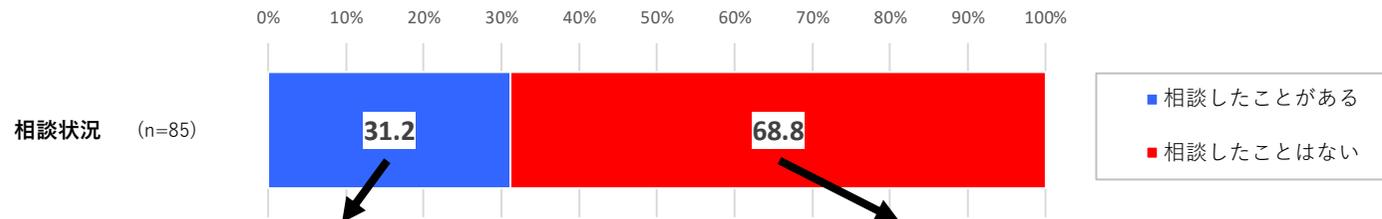
【図表47】 ギャンブル等を目的とした借入の現在残高（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者） ※ウエイトバックあり



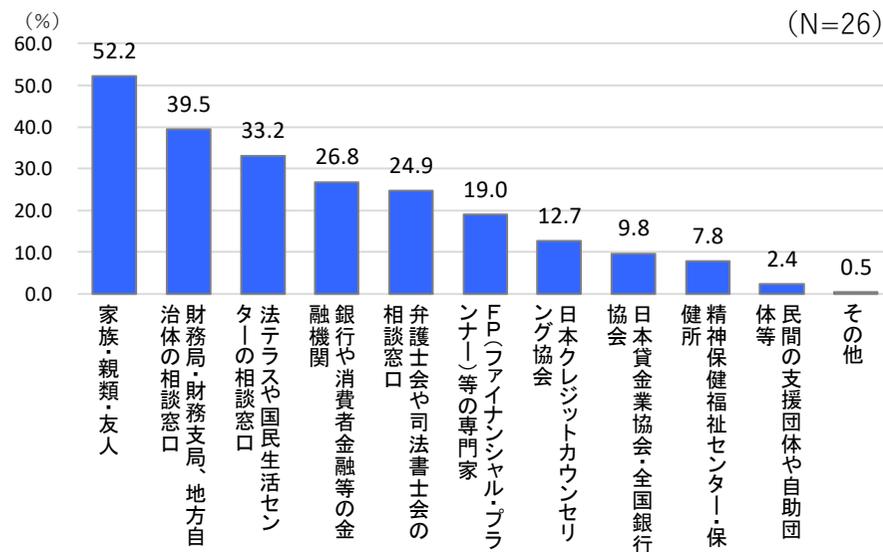
## ギャンブル等を目的とした借入経験者の相談状況

- ギャンブル等を目的とした借入れについて「相談したことがある」借入経験者は31.2%。（図表48）
- 相談先としては「家族・親族・友人」が52.2%で最多。（図表49）
- 相談しなかった理由は、「相談する必要性を感じなかったから」が48.3%で最多。（図表50）

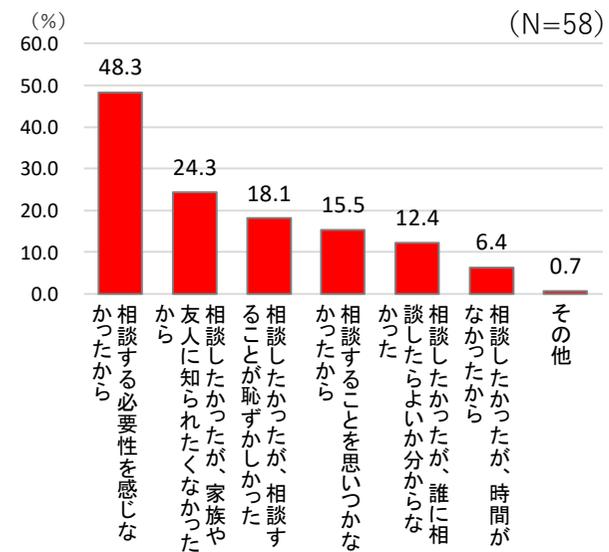
【図表48】 ギャンブル等を目的とした借入に関する相談状況（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者）※ウエイトバックあり



【図表49】 ギャンブル等を目的とした借入に関する相談先（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者）※ウエイトバックあり



【図表50】 相談しなかった理由（ベース：ギャンブル等を目的とした借入経験者）※ウエイトバックあり



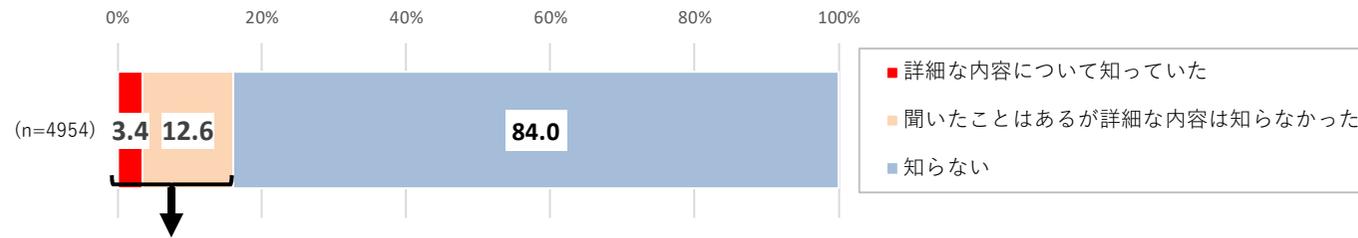
---

## VI. 貸付自粛制度の認知・利用状況の 結果まとめ

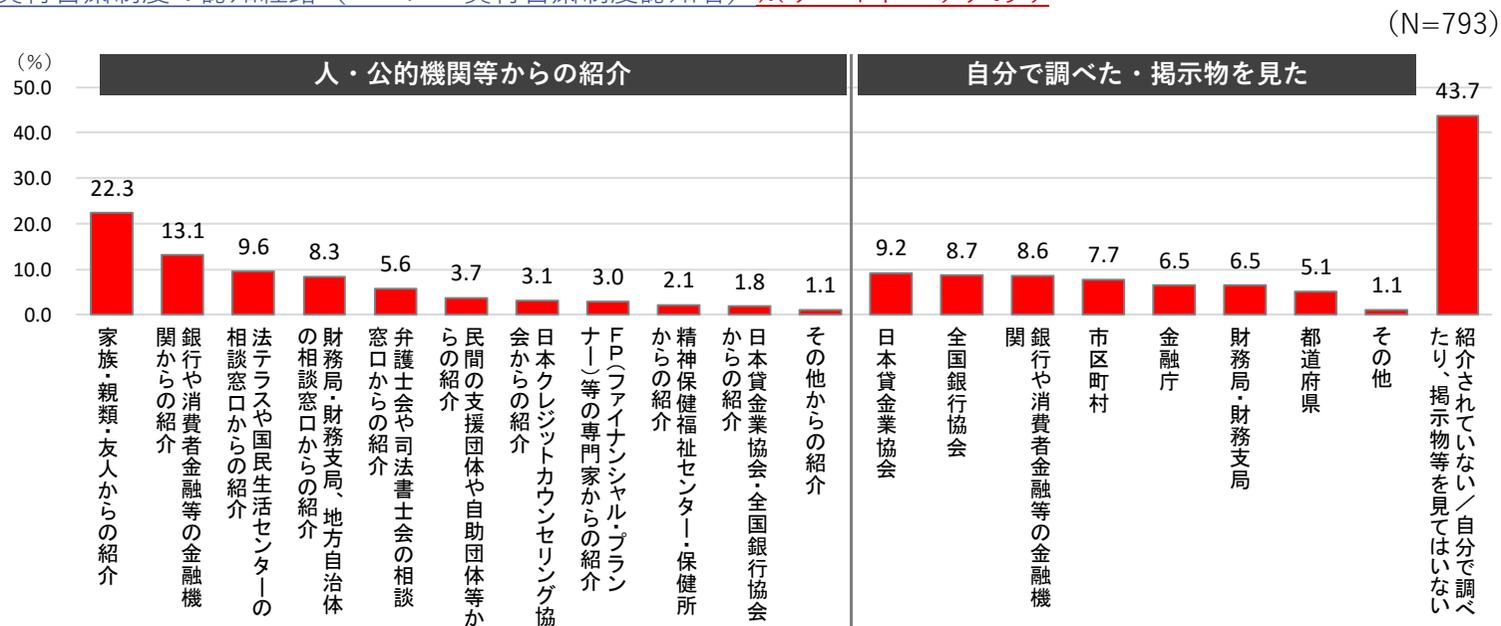
## 貸付自粛制度の認知状況

- 貸付自粛制度の「詳細な内容について知っていた」は3.4%。一方「知らない」は84.0%。（図表51）
- 貸付自粛制度の認知経路で、＜人・公的機関からの紹介＞では「家族・親類・友人」が22.3%と最多。一方、＜自分で調べた・掲示物等を見た＞では「日本貸金業協会」が9.2%と最多。（図表52）

【図表51】 貸付自粛制度の認知状況 ※ウエイトバックあり



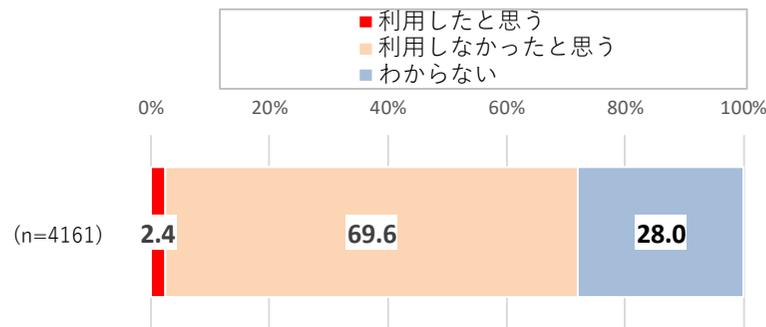
【図表52】 貸付自粛制度の認知経路（ベース：貸付自粛制度認知者） ※ウエイトバックあり



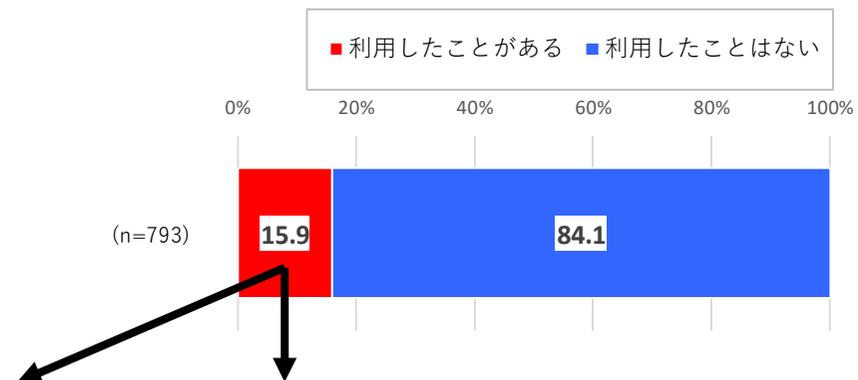
## 貸付自粛制度の利用意向・利用状況

- 貸付自粛制度非認知者の利用意向では「利用しなかったと思う」が69.6%と最多。（図表53）
- 貸付自粛制度認知者のうち、「利用したことがある」人は15.9%。（図表54）
- 貸付自粛制度利用者のうち、借り過ぎや借入癖が「収まった」人は91.5%。（図表55）
- 貸付自粛制度利用者のうち、「撤回したことはあるが、撤回後に借入れは行っていない」人は51.6%、「撤回したことがあり、撤回後に借入れを行ったことがある」は16.0%。（図表56）

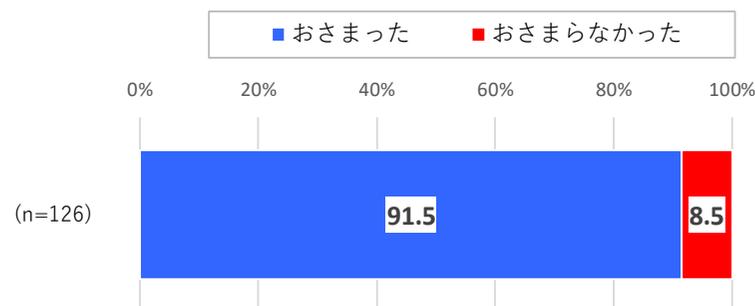
【図表53】 貸付自粛制度の利用意向  
(ベース：貸付自粛制度非認知者) ※ウエイトバックあり



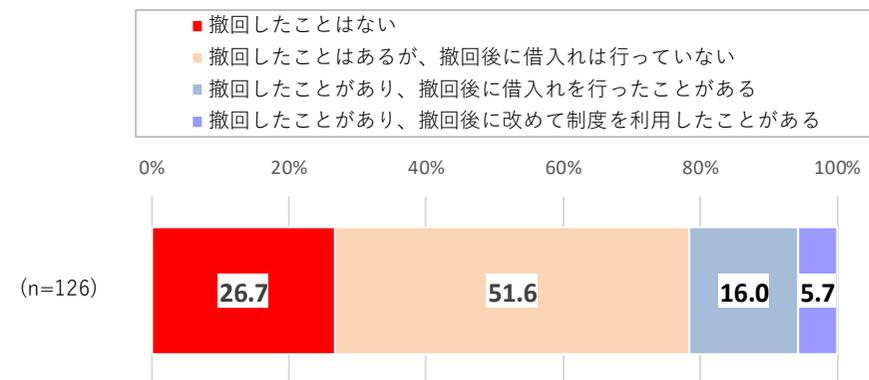
【図表54】 貸付自粛制度の利用状況  
※ウエイトバックあり



【図表55】 貸付自粛制度による借りすぎや借入癖の抑制効果  
(ベース：貸付自粛制度利用者) ※ウエイトバックあり



【図表56】 貸付自粛制度の撤回状況  
(ベース：貸付自粛制度利用者) ※ウエイトバックあり

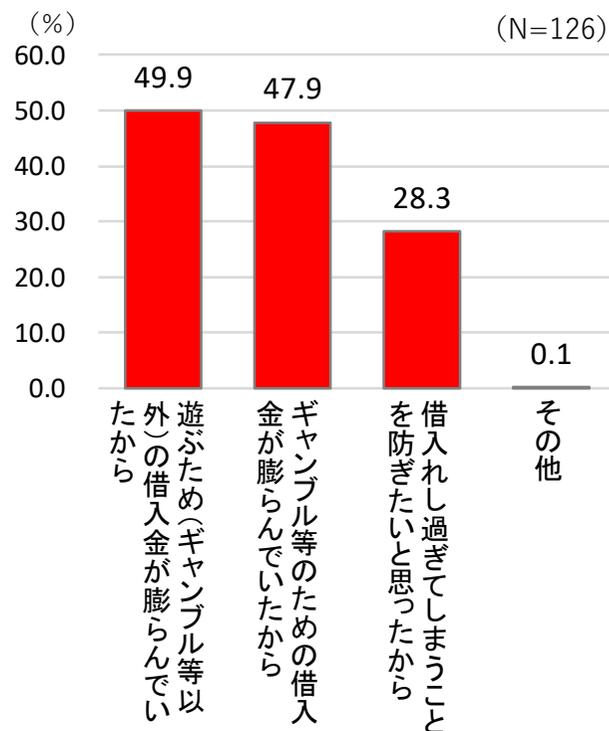


## 貸付自粛制度の利用・非利用理由

- 貸付自粛制度の利用理由は遊ぶための借入金が膨らんでいたから」が49.9%と最も多く、次いで「ギャンブル等のために借入金が膨らんでいたから」が47.9%で続く。（図表57）
- 貸付自粛制度を利用しない理由は、「特に理由がない」が51.7%と最も多く、次いで「自分で借入れを制御できると思ったから」が16.1%。（図表58）

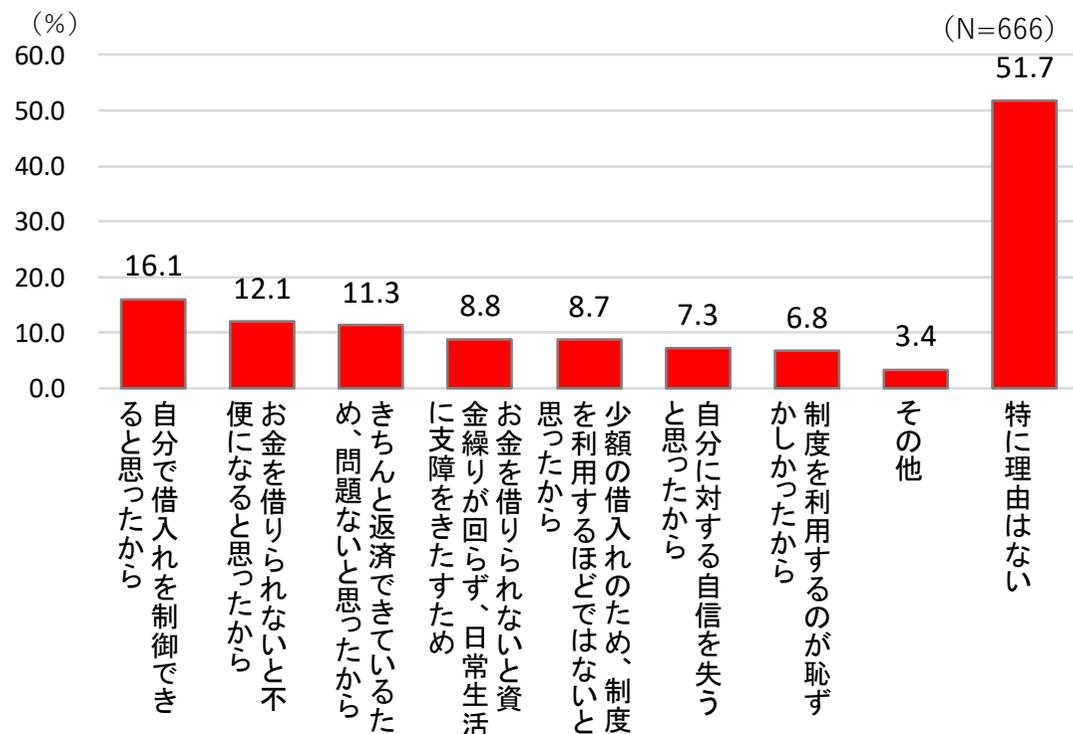
【図表57】 貸付自粛制度の利用理由  
(ベース：貸付自粛制度利用者)

※ウエイトバックあり



【図表58】 貸付自粛制度の非利用理由  
(ベース：貸付自粛制度非利用者)

※ウエイトバックあり



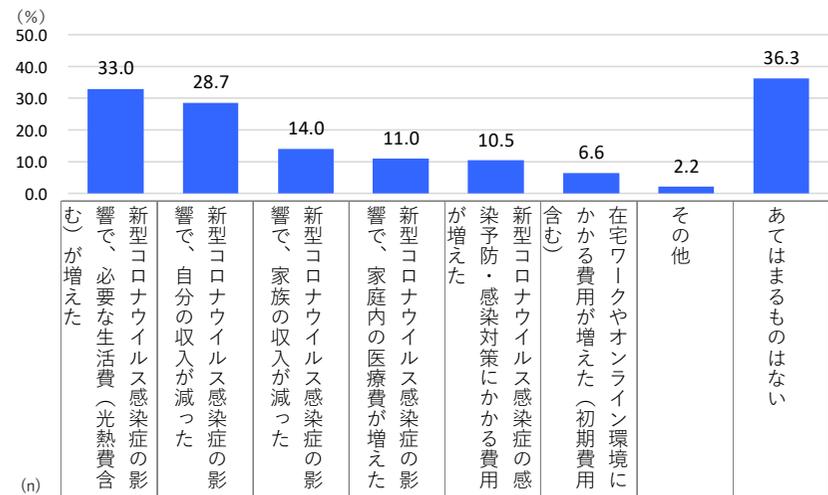
---

# VII. 新型コロナウイルス感染症の影響 結果まとめ

# 1年以内の借入に影響を与えた出来事 <年代別・職業別>

■ 1年以内の借入に影響を与えた出来事では、「新型コロナウイルス感染症により必要な生活費が増えたため」が33.0%と高い。次いで「新型コロナウイルス感染症の影響で自分の収入が減った」が28.7%で続く。  
 ■ 「あてはまるものはない（新型コロナウイルス感染症の影響はない）」は36.3%。（図表59）

【図表59】 1年以内の借入に影響を与えた出来事：年代別・職業別（ベース：1年以内借入経験者）※ウエイトバックあり



### <傾向>

- 年代別で見ると、「生活費不足」は20代以下で、比較的高め。一方「あてはまるものはない」は50代以上で高い傾向が見られる。
- 職業別で見ると、「生活費不足」は『専門職』『パート・アルバイト・フリータ』で特に高い傾向が見られた。

		(n)	新型コロナウイルス感染症により必要な生活費が増えた	新型コロナウイルス感染症の影響で、自分の収入が減った	新型コロナウイルス感染症の影響で、家族の収入が減った	新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭内の医療費が増えた	新型コロナウイルス感染症の影響で、感染対策にかかる費用が増えた	在宅ワークやオンライン環境にかかる費用が増えた（初期費用含む）	その他	あてはまるものはない
全体		1723	33.0	28.7	14.0	11.0	10.5	6.6	2.2	36.3
年代別	20代以下	484	41.1	27.4	19.9	13.6	15.2	12.5	0.9	22.0
	30代	377	37.3	34.6	18.3	13.5	11.0	4.8	0.9	31.8
	40代	383	32.7	30.5	11.6	9.1	6.8	4.7	1.5	39.7
	50代	249	22.7	25.7	7.4	7.1	6.8	3.8	2.7	53.6
	60代・70代	230	21.8	24.2	6.6	9.2	9.5	2.4	7.1	49.0
職業別	会社員	1005	35.7	29.7	15.9	15.6	11.8	6.4	2.5	34.0
	経営者・役員	32	21.9	40.6	25.0	21.9	15.6	0.0	3.1	25.0
	個人事業主	127	33.1	40.1	7.7	5.1	18.4	5.7	1.3	30.0
	公務員（教職員含む）	69	35.3	29.2	4.0	24.2	4.0	1.0	1.0	34.4
	専門職	53	38.5	24.2	10.9	9.7	8.5	4.8	0.0	33.7
	農林漁業	25	24.0	32.0	44.0	24.0	16.0	8.0	0.0	12.0
	派遣・契約社員	140	21.4	33.6	9.3	5.0	6.4	2.1	2.9	41.4
	パート・アルバイト・フリーター	220	39.6	41.6	12.0	8.8	9.6	2.8	1.6	38.0
	専業主婦／主夫	105	30.0	12.0	22.6	7.3	4.7	0.7	2.0	48.6
	無職	128	18.4	10.8	6.3	7.0	4.4	1.3	4.4	64.5
	学生	84	32.9	27.4	14.6	6.9	17.8	25.1	0.9	14.6

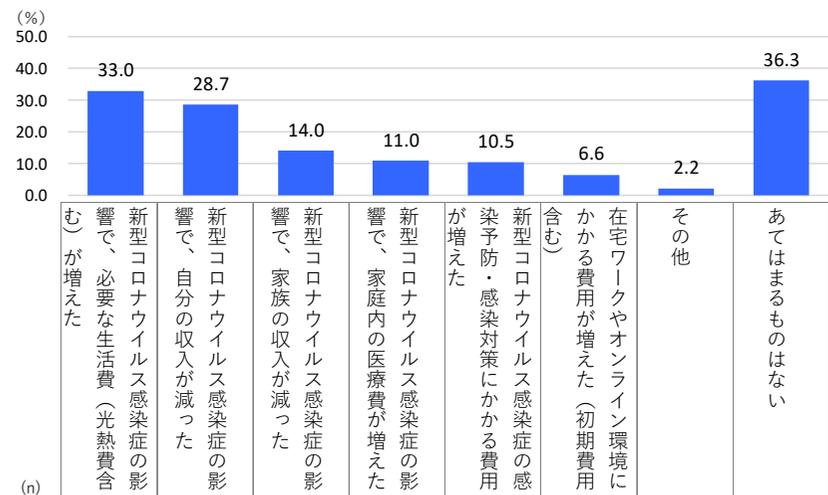
### <全体ベースとの比較>

- +10pt以上高い
- +5pt以上高い
- 5pt以下低い
- 10pt以下低い

# 1年以内の借入に影響を与えた出来事 <年収別・借入状況別>

- 年収別では1001万円以上で「新型コロナウイルス感染症の影響で家庭内の医療費が増えた」「自分の収入が減った」「予防対策費用が増えた」などが高くなっている。(図表60)
- 借入残高が年収の1/3を超える者では「家族の収入が減った」「家庭内の医療費が増えた」が高い。

【図表60】1年以内の借入に影響を与えた出来事：年収別・借入状況別（ベース：1年以内借入経験者）※ウエイトバックあり



		(n)	33.0	28.7	14.0	11.0	10.5	6.6	2.2	36.3
全体		1723	33.0	28.7	14.0	11.0	10.5	6.6	2.2	36.3
年収別	0円	121	34.8	11.6	14.9	4.4	11.6	9.9	1.1	42.0
	1~300万円以下	899	35.1	30.6	16.7	11.0	10.7	6.4	1.3	32.7
	301~500万円以下	409	26.8	29.2	10.0	10.7	7.9	4.8	5.0	42.0
	501~1000万円以下	250	35.9	29.7	10.6	13.3	12.4	7.4	1.2	37.0
	1001万円以上	44	27.3	34.1	18.2	25.0	20.5	13.6	2.3	29.5
借入状況別	3年以内貸金業借入経験者	1687	31.0	31.8	15.9	13.8	11.3	6.0	2.0	35.4
	かつ借入残高が年収の1/3を超える者	396	33.3	32.1	19.9	18.2	10.1	5.3	1.8	27.5
	かつ借入残高が年収の1/3以下の者	1030	34.0	35.3	16.3	14.8	13.0	7.4	1.9	31.9

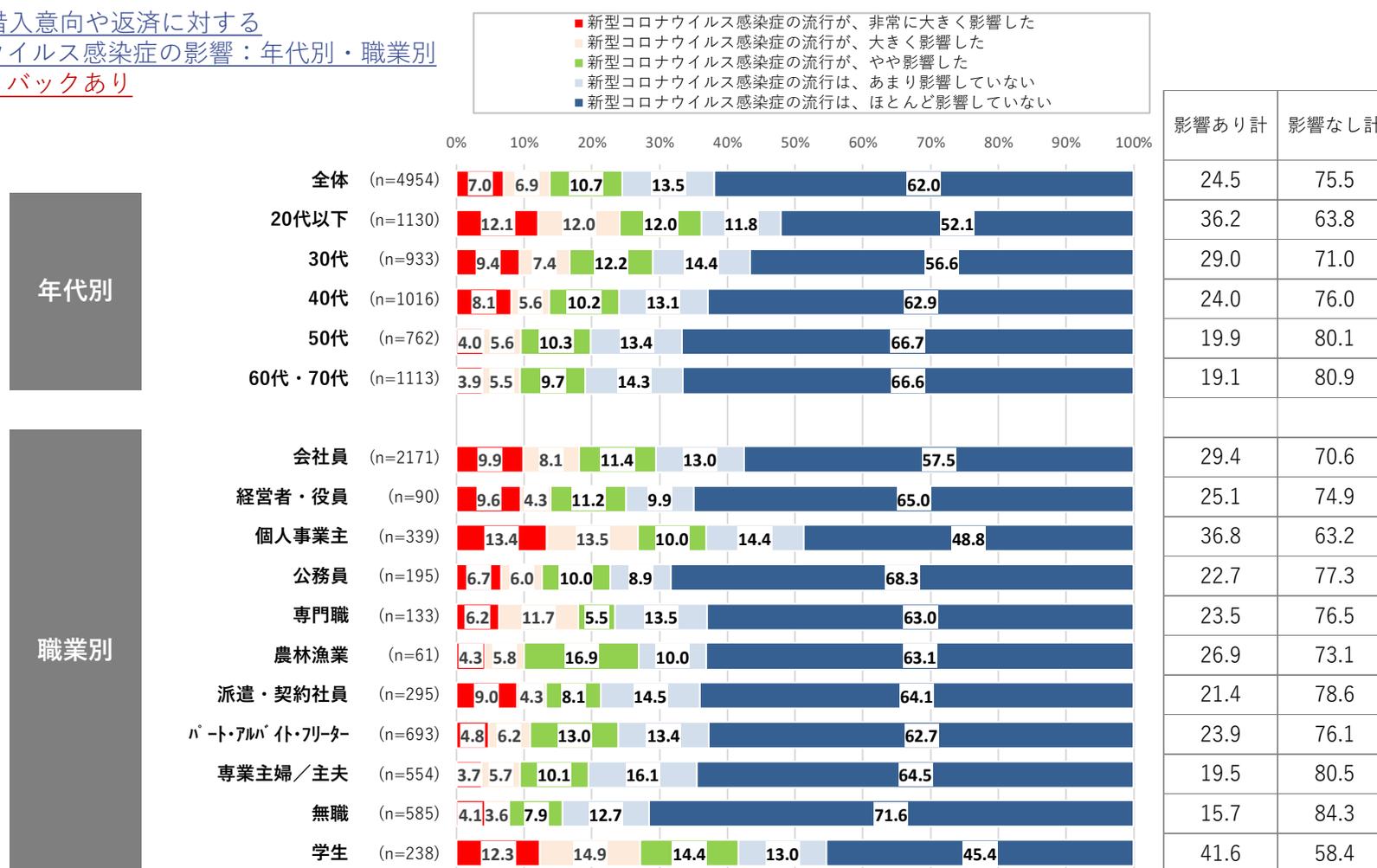
<全体ベースとの比較>

- +10pt以上高い
- +5pt以上高い
- 5pt以下低い
- 10pt以下低い

## 借入意向や返済に対する新型コロナウイルス感染症の影響 <年代別・職業別>

- 借入意向や返済に対して新型コロナウイルス感染症が影響したと回答した割合は24.5%。
- 年代別では若年層ほど「影響あり計」が高く、20代以下では36.2%。
- 職業別では「個人事業主」「学生」で「影響あり計」が比較的高い。（図表61）

【図表61】借入意向や返済に対する  
新型コロナウイルス感染症の影響：年代別・職業別  
※ウエイトバックあり



## 借入意向や返済に対する新型コロナウイルス感染症の影響 < 年収別・借入状況別 >

- 年収別で見ると、年収が高いほど「影響あり計」が高い傾向が見られる。
- 借入経験者では「影響あり計」が61.5%と高く、特に「借入残高年収1/3超」が73.7%と高い。
- 借入経験者以外では「影響あり計」は21.7%。(図表62)

【図表62】借入意向や返済に対する  
新型コロナウイルス感染症の影響：年収・借入状況別  
※ウエイトバックあり

